

近畿厚生局長 殿

大阪大学医学部附属病院
病院長 吉川 秀樹



大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	67人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	442人	535人	738.8人	看護補助者	65人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	1人	22人	9.2人	理学療法士	11人	臨床検査技師	77人
薬 剤 師	60人	11人	68.2人	作業療法士	4人	臨床衛生検査技師	3人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	17人	その他	1人
助 産 師	35人	0人	35.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看 護 師	894人	16人	906.8人	臨床工学技士	21人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	2人	1人	2.6人	栄 養 士	0人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	0人	2人	1.5人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	220人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	58人	そ の 他 の 職 員	43人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	876.6人	0.0人	876.6人
1日当たり平均外来患者数	2,446.0人	12.1人	2,458.1人
1日当たり平均調剤数	1,750.53剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	特になし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	170人	・膿疱性乾癬	12人
・多発性硬化症	71人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・重症筋無力症	194人	・原発性胆汁性肝硬変	61人
・全身性エリテマトーデス	436人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	8人	・特発性大腿骨頭壊死症	65人
・再生不良性貧血	80人	・混合性結合組織病	85人
・サルコイドーシス	85人	・原発性免疫不全症候群	16人
・筋萎縮性側索硬化症	35人	・特発性間質性肺炎	21人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	289人	・網膜色素変性症	94人
・特発性血小板減少性紫斑病	126人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	36人	・肺動脈性肺高血圧症	35人
・潰瘍性大腸炎	202人	・神経線維腫症	48人
・大動脈炎症候群	80人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	36人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	47人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	9人
・脊髄小脳変性症	83人	・ライソゾーム病	47人
・クローン病	146人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	10人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2人
・悪性関節リウマチ	15人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	307人	・球脊髄性筋萎縮症	7人
・アミロイドーシス	7人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	6人
・後縦靭帯骨化症	87人	・肥大型心筋症	20人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	31人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ管筋腫症(LAM)	23人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	177人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	24人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	35人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	164人
	27		2,827人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

746人
3,573人

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助金等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	糖尿病とアルツハイマー病の相互状態修飾におけるインスリン・シグナリングの役割	里直行	老年・高血圧内科	6,500,000	補 独立行政法人日本学術振興会
2	肝細胞癌の発生と進展におけるオートファジーの意義と制御機構の解析	竹原徹郎	消化器内科	5,980,000	補 独立行政法人日本学術振興会
3	革新的新規治療法開発のための基盤創出ー消化器癌幹細胞と宿主細胞の再プログラムー	石井秀始	消化器外科	4,680,000	補 独立行政法人日本学術振興会
4	造血因子の脳軟膜側副血行促進機序の解明ー脳梗塞亜急性期への臨床応用を目指してー	北川一夫	神経内科・脳卒中科	3,900,000	補 独立行政法人日本学術振興会
5	肺移植後の拒絶反応抑制の治療方法の開発ーIL-6増幅回路の遮断を用いた治療戦略ー	奥村明之進	呼吸器外科	4,030,000	補 独立行政法人日本学術振興会
6	大動脈解離に対する統括的治療戦略の構築	倉谷徹	心臓血管外科	2,340,000	補 独立行政法人日本学術振興会
7	領野間ネットワークにもとづいたブレイン・マシン・インターフェースによる機能再建	平田雅之	脳神経外科	4,940,000	補 独立行政法人日本学術振興会
8	新世代手術デバイスによる超高精度四肢矯正方法の開発	村瀬剛	整形外科	4,550,000	補 独立行政法人日本学術振興会
9	ヒト運動器細胞・間葉系幹細胞の三次元力学刺激応答におけるシグナル伝達機構の解明	中田研	整形外科	4,550,000	補 独立行政法人日本学術振興会
10	肥満におけるアディポサイトカイン異常と病態発症機構の解析	船橋徹	内分泌・代謝内科	20,800,000	補 独立行政法人日本学術振興会
11	変性疾患における神経細胞、ミクログリアの相互作用、インフラマソームを中心に	望月秀樹	神経内科・脳卒中科	5,850,000	補 独立行政法人日本学術振興会
12	高精度の分子遺伝学的評価による食道癌治療成績向上のための包括的研究	森正樹	消化器外科	43,160,000	補 独立行政法人日本学術振興会
13	医薬品の体内動態の種差:PETマイクロドーズ臨床試験による研究	畑澤順	核医学診療科	116,000,000	補 独立行政法人日本学術振興会
14	医薬品の体内動態の種差:PETマイクロドーズ臨床試験による研究	畑澤順	放射線部	116,000,000	補 独立行政法人日本学術振興会
15	心不全心筋組織における「やわらかさ」の意義とその応用による外科的治療法の開発	澤芳樹	心臓血管外科	15,990,000	補 独立行政法人日本学術振興会
16	ヒト病態類似モデルマウス作成を介した妊娠高血圧症候群の予知・予防・治療戦略開発	木村正	産科婦人科	21,580,000	補 独立行政法人日本学術振興会
17	臨床検体からの培養細胞を用いた消化器癌バイオマーカーの開発	辻井正彦	消化器内科	6,760,000	補 独立行政法人日本学術振興会
18	新規HDL結合蛋白プログラニリンは全身性炎症・糖代謝異常・動脈硬化を抑制する	山下静也	循環器内科	6,760,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

18

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
19	アディポネクチンの組織修復機構と新規内分泌因子Favineの生理病態的意義の解明	下村伊一郎	内分泌・代謝内科	7,670,000	補 独立行政法人日本学術振興会
20	CNP/NPR-B/CGMPシグナル系に焦点を当てた成長障害の病態・治療法の検討	大園恵一	小児科	8,840,000	補 独立行政法人日本学術振興会
21	前頭側頭型認知症における異常蓄積蛋白の分解・重合制御に関わる新規分子の探索と解析	武田雅俊	神経科・精神科	8,580,000	補 独立行政法人日本学術振興会
22	消化器癌集学的治療におけるグレリンによる包括的支持療法の検討	土岐祐一郎	消化器外科	7,800,000	補 独立行政法人日本学術振興会
23	癌と生体環境のマイクロコスモスとマクロコスモス	山本浩文	消化器外科	9,750,000	補 独立行政法人日本学術振興会
24	腫瘍体積と導入化学療法に基づく下咽頭癌の個別化治療—その予後因子の網羅的検索—	猪原秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5,590,000	補 独立行政法人日本学術振興会
25	タイ国における多剤耐性アシネトバクター・パウマニを中心とする院内感染制御支援	朝野和典	感染制御部	6,110,000	補 独立行政法人日本学術振興会
26	1分子イメージングを用いた揮発性麻酔薬による幼若脳神経細胞障害作用の分子機構解明	宮本善一	麻酔科	910,000	補 独立行政法人日本学術振興会
27	各種腫瘍における腫瘍幹細胞動態を制御する因子に関する解析	森井英一	病理部	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会
28	認知機能進展に対する新規診断法の開発(エビジェネティックスの臨床応用)	竹屋泰	老年・高血圧内科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
29	粘膜免疫誘導組織および共生細菌のNSAIDs消化管粘膜傷害への関与の解明	飯島英樹	消化器内科	1,300,000	補 独立行政法人日本学術振興会
30	アダプター蛋白質Gab1をターゲットとした新規肝癌分子標的治療法の開発	吉田雄一	消化器内科	650,000	補 独立行政法人日本学術振興会
31	酸化脂質によるアンジオテンシン2受容体活性化の機序の解明と病態生理学的意義の検討	山本浩一	老年・高血圧内科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
32	抗GM-CSF抗体投与によるALS治療の試み	奥野龍禎	神経内科・脳卒中科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
33	インテグリン活性化制御分子における機能部位の同定と新たな治療法への展開	田所誠司	血液・腫瘍内科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
34	サイトカイン網羅解析による膠原病性肺高血圧・レイノー症状の病態解析	萩原圭祐	漢方医学科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
35	肝臓における周産期の糖・脂質代謝ダイナミズムの検討	近藤宏樹	小児科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
36	cGMP恒常産生ナトリウム利尿ペプチド受容体を用いた肺高血圧治療薬開発	小垣滋豊	小児科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
37	皮膚再生機構の解明—毛包細胞内シグナル伝達機構の解析—	板見智	皮膚科	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
38	プレセニリンγセクレターゼによるNICD、アミロイドβなどの産生機構の解析	田上真次	神経科・精神科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
39	モデル動物など多角的研究方法によるアルツハイマー病関連遺伝子の同定とその機構解明	森原剛史	神経科・精神科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
40	球状ビーズの血管内動態と最適化に関する検討:血管塞栓術のパラダイムシフトに向けて	大須賀慶悟	放射線診断科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
41	放射線生存曲線パラメータを規定する分子生物学的因子の包括的スクリーニング	瀬尾雄二	放射線治療科	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
42	胃癌患者末梢血中の癌細胞由来浮遊DNA検出法の確立	黒川幸典	消化器外科	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会
43	食道癌周術期管理におけるグレリンのサイトカイン分泌抑制作用効果の検討	瀧口修司	消化器外科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
44	大腸がんの予後・治療応答性予測診断システムの臨床応用と実用化の研究	竹政伊知朗	消化器外科	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会
45	難治性てんかんの発作焦点検出のための画像診断法の開発	加藤弘樹	核医学診療科	1,300,000	補 独立行政法人日本学術振興会
46	悪性脳腫瘍に対するWT1ペプチドワクチン療法の予後予測因子と免疫逃避に関する研究	橋本直哉	脳神経外科	1,040,000	補 独立行政法人日本学術振興会
47	脊髄再生に必要な血管新生を誘導する多種細胞組み合わせ移植	岩月幸一	脳神経外科	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
48	膝関節のin vivo四次元動態解析:正常膝、靭帯損傷膝及び靭帯再建膝	前達雄	整形外科	1,040,000	補 独立行政法人日本学術振興会
49	低酸素傷害に対する麻酔薬の神経保護—バイオイメーキングによる残存神経細胞の解析	澁田達史	麻酔科	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
50	脳死後の心機能低下におけるサバイバル蛋白の役割	林行雄	麻酔科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
51	5α還元酵素阻害剤およびPDE5阻害剤がおよぼす前立腺組織への直接作用	辻村晃	泌尿器科	1,040,000	補 独立行政法人日本学術振興会
52	生殖医学におけるTIMPの役割—着床障害マウスにおける不妊症と妊娠高血圧症候群—	筒井建紀	産科婦人科	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
53	新生児脳障害に対する臍帯血移植の実現をめざして—有効な移植法とメカニズムの解析—	金川武司	産科婦人科	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
54	mTORC2をターゲットとした卵巣癌の分子標的治療・予防の可能性の検討	馬淵誠士	産科婦人科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
55	癌周辺微小環境を忠実に再現した新しい腹膜播種実験系の開発とその可能性の検討	澤田健二郎	産科婦人科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
56	新しい細胞塊培養による婦人科癌の抗癌剤感受性試験の確立と応用	吉野潔	産科婦人科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
57	細胞外マトリックスを介した眼科疾患メカニズムの解明と失明予防法の研究	生野恭司	眼科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
58	標的指向性・光感受性リポソームの薬物動態解析	橋田徳康	眼科	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会
59	緑内障モデルにおける放射光微小血管造影法による球後眼動脈微小血管の描出	松下賢治	眼科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
60	脂肪組織由来幹細胞を用いた気管軟骨再生法に関する研究	臼井規朗	小児外科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
61	横紋筋肉腫に対するヘッジホグシグナルの阻害による増殖・浸潤・転移抑制に関する研究	大植孝治	小児外科	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
62	小児横紋筋肉腫における癌幹細胞の同定と免疫療法に向けた基礎的研究	上原秀一郎	小児外科	1,040,000	補 独立行政法人日本学術振興会
63	細胞膜一核内シヤトル分子Hic-5の皮膚創傷治癒における役割の解明	乾重樹	皮膚科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
64	中性脂肪蓄積心筋血管症に対する栄養療法の開発	平野賢一	循環器内科	1,040,000	補 独立行政法人日本学術振興会
65	血液検査結果によるがん早期診断支援システムの構築	松村泰志	医療情報部	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
66	地理情報システムを用いた重症傷病者の発生地点と病院前診療の選択に関する研究	中川雄公	高度救命救急センター	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
67	神経栄養因子による皮膚感覚増感作用は温もると痒いメカニズムを説明できるか？	室田浩之	皮膚科	2,860,000	補 独立行政法人日本学術振興会
68	腸炎モデルマウスを用いた大建中湯の腸管免疫系への影響についての検討	有光潤介	漢方医学科	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会
69	腸炎モデルマウスを用いた大建中湯の腸管免疫系への影響についての検討	疋田隼人	消化器内科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
70	肝細胞のアポトーシスが肝発癌を誘発する機序の解明	巽智秀	消化器内科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
71	アディポネクチンを用いた膵癌のリスク因子解析および新規治療法開発	渡部健二	消化器内科	2,340,000	補 独立行政法人日本学術振興会
72	膵癌におけるバイオマーカーの探索—CTOS法を用いた検討	西田勉	消化器内科	2,210,000	補 独立行政法人日本学術振興会
73	左室駆出率が保たれた心不全におけるカルニチンの意義	坂田泰史	循環器内科	2,730,000	補 独立行政法人日本学術振興会
74	低酸素誘導性小胞体酸化還元酵素Ero1の心血管リモデリングにおける役割解明	南野哲男	循環器内科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
75	次世代エピゲノム解析および超微細構造解析を応用した難治性心不全発症機序の解明	朝野仁裕	循環器内科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
76	アディポネクチンによる全身性疾患としてのCOPDの病態解明と治療応用	武田吉人	呼吸器内科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
77	手術不能胸部悪性腫瘍に対するWT1ペプチド免疫治療の開発とその免疫動態の解析	岡芳弘	免疫・アレルギー内科	2,730,000	補 独立行政法人日本学術振興会
78	HER2を標的とした多剤耐性小細胞肺癌の分子標的治療	木島貴志	呼吸器内科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
79	オートファジーの慢性腎疾患進行に対する防御機構の解明	高畠義嗣	腎臓内科	2,860,000	補 独立行政法人日本学術振興会
80	動脈硬化危険因子による脳小血管内皮細胞の接着機構障害とその機序の解明	八木田佳樹	神経内科・脳卒中科	2,730,000	補 独立行政法人日本学術振興会
81	膵β細胞ブドウ糖毒性(膵β細胞機能障害)の分子メカニズムの解析	金藤秀明	内分泌・代謝内科	2,470,000	補 独立行政法人日本学術振興会
82	インスリン転写因子MafAの新規標的遺伝子の解析と膵β細胞再生への応用	松岡孝昭	内分泌・代謝内科	2,600,000	補 独立行政法人日本学術振興会
83	肥満脂肪組織における酸化ストレス亢進とグルタチオン蓄積病態の解明	福原淳範	内分泌・代謝内科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
84	肥満脂肪組織におけるメタボリックマップの構築～尿酸代謝と脂肪細胞機能異常～	西澤均	内分泌・代謝内科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
85	劇症1型糖尿病の成因一患者分析より新たに見出された2分子の病態学的意義の解明	今川彰久	内分泌・代謝内科	2,730,000	補 独立行政法人日本学術振興会
86	新規表面抗原ESAMを指標とした造血幹細胞の生理的特性の解析と白血病診断への応用	横田貴史	血液・腫瘍内科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
87	トシリズマブ投与が全身性強皮症に及ぼす影響を与えるか	嶋良仁	免疫・アレルギー内科	2,470,000	補 独立行政法人日本学術振興会
88	新生児低酸素性虚血性脳症における脳血管内皮細胞保護療法の有効性の検討	谷口英俊	小児科	2,990,000	補 独立行政法人日本学術振興会
89	特発性正常圧水頭症に対する手術効果の予測に関する研究	吉山顕次	神経科・精神科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
90	タウ遺伝子変異による結合蛋白との関係の変化と神経変性過程の解析	田中稔久	神経科・精神科	2,210,000	補 独立行政法人日本学術振興会
91	ホウ素中性子捕捉療法におけるホウ素化合物の組織内濃度の定量測定	下瀬川恵久	核医学診療科	2,340,000	補 独立行政法人日本学術振興会
92	MRI-CFD融合解析を用いた脳動脈瘤発生機序、成長予測に関する研究	渡邊嘉之	放射線診断科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
93	バイオマーカーとして核磁気共鳴画像を用いた非アルコール性脂肪性肝炎の病態解析	大西裕満	放射線診断科	780,000	補 独立行政法人日本学術振興会
94	低酸素腫瘍細胞の酸素化直後における放射線治療効果を規定する機序の解明	小川和彦	放射線治療科	1,300,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
95	細胞接着阻害因子を標的として新規癌治療薬の開発	谷山義明	老年・高血圧内科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
96	BRCA1/BRCA2変異保因者に対する乳がん早期発見・発症予防に関する研究	下村淳	乳腺・内分泌外科	3,120,000	補 独立行政法人日本学術振興会
97	乳癌の個別化治療を目指した新しい感受性診断	金昇晋	乳腺・内分泌外科	2,340,000	補 独立行政法人日本学術振興会
98	食道癌化学療法耐性におけるエクソソームの機能解明	宮田博志	消化器外科	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会
99	胆道炎症によるIL-6/TGF-βクロストークから癌と周囲環境に与える変化	小林省吾	消化器外科	2,210,000	補 独立行政法人日本学術振興会
100	小児重症心不全に対する小児用補助人工心臓および再生治療を用いた集学的治療の開発	上野高義	心臓血管外科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
101	大動脈解離のバイオマーカーの探索とその臨床応用	白川幸俊	心臓血管外科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
102	肺移植の拒絶反応抑制のためのサイトカイン受容体脱リン酸化分子標的療法の開発	中桐伴行	呼吸器外科	650,000	補 独立行政法人日本学術振興会
103	癌微小環境を標的とした肺癌治療の開発	新谷康	呼吸器外科	2,730,000	補 独立行政法人日本学術振興会
104	神経膠腫幹細胞が腫瘍内免疫およびWT1ペプチドワクチン療法に与える影響の解明	香川尚己	脳神経外科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
105	新規マウス軟部肉腫高肺転移株の樹立と肺転移再現動物モデルの開発	中紀文	整形外科	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会
106	大動脈ステント手術後急性腎障害発生メカニズムおよび早期治療効果の検討	植田一吉	麻酔科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
107	プロポフォール樹状細胞刺激作用の生体防御、免疫病理への影響	藤野裕士	麻酔科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
108	炎症による前立腺発癌機構に関する研究	野々村祝夫	泌尿器科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
109	iTRAQ法による子宮体癌化学療法抵抗性に関わる蛋白質の同定とメカニズムの解析	上田豊	産科婦人科	2,470,000	補 独立行政法人日本学術振興会
110	異常眼球運動解析による中枢性疾患と末梢性疾患の鑑別	今井貴夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,380,000	補 独立行政法人日本学術振興会
111	視覚の質と生体力学を考慮した角膜手術法開発のための基礎的研究	前田直之	眼科	2,340,000	補 独立行政法人日本学術振興会
112	加齢黄斑変性に対する発症機序に基づく新規薬剤治療と1次予防の開発	瓶井資弘	眼科	2,860,000	補 独立行政法人日本学術振興会
113	小児悪性固形腫瘍に対する抗アポトーシス分子サイピンを標的とした分子標的治療	奈良啓悟	小児外科	2,340,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
114	自閉症スペクトラム障害における聴覚処理過程に関する神経基盤研究	下野九理子	小児科	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会
115	細胞を用いた成長軟骨帯の再生	吉川秀樹	整形外科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
116	In vitro盤構築モデルの作成とそれによる胎盤剥離の分子機構の網羅的解析	木村正	産科婦人科	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
117	アルツハイマー病による全身糖エネルギー代謝への影響	里直行	老年・高血圧内科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
118	急性膵炎における膵房細胞障害の分子機構の解明	竹原徹郎	消化器内科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
119	H. pylori関連胃癌過程におけるCagAと炎症のクロストークの解析	辻井正彦	消化器内科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
120	オートファジー欠損関連蛋白から創薬を探る	猪阪善隆	腎臓内科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
121	コレステロールと11βHSD1の誘導剤による新規外用薬の開発研究	片山一郎	皮膚科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
122	消化器癌の末梢遊離癌細胞の精製と培養	西村潤一	消化器外科	2,210,000	補 独立行政法人日本学術振興会
123	セツキシマブ抵抗性難治性大腸癌に対するMicroRNA治療	山本浩文	消化器外科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
124	肺胞再生サイトカインを産生する細胞シートの開発、および肺気腫に対する治療への応用	奥村明之進	呼吸器外科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
125	重症心不全に対するmicroRNAを応用した治療法の開発	澤芳樹	心臓血管外科	2,210,000	補 独立行政法人日本学術振興会
126	生殖細胞特異的に反応するTRA98の抗原遺伝子の同定とその解析	木内寛	泌尿器科	650,000	補 独立行政法人日本学術振興会
127	移植皮弁知覚の向上を目指して 一脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた研究一	富田興一	形成外科	2,210,000	補 独立行政法人日本学術振興会
128	熱中症に対する新たな臓器障害戦略:遊離核酸標的治療の有効性	小倉裕司	高度救命救急センター	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
129	オキシトシン点鼻による自閉性障害治療法の開発	谷池雅子	小児科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
130	神経因性疼痛におけるDNA後修飾の役割の解明	中江文	麻酔科	2,600,000	補 独立行政法人日本学術振興会
131	腸管上皮細胞に発現するLGR5のスプライシングバリエーションの解析	西村潤一	消化器外科	4,030,000	補 独立行政法人日本学術振興会
132	脈絡膜新生血管における樹状細胞の役割	中井慶	眼科	910,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
133	難治性視神経症に対する電気刺激治療の発展的研究	森本壮	眼科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
134	Sema4Aにおける点突然変異と網膜色素変性症	野島聡	病理部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
135	高分子多糖類を用いた新たな塞栓物質の開発と薬剤溶出能の検討	東原大樹	放射線診断科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
136	フェムトセカンドレーザーを用いた無縫合角膜移植の開発	相馬剛至	眼科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
137	Sema4Aリコンビナト蛋白によるアトピー型気管支喘息への治療応用	井上幸治	呼吸器内科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
138	アミノ酸L-リジンによるuremic memory解除の試み	松井功	腎臓内科	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
139	脂肪細胞分泌因子アディポネクチン制御による新規関節リウマチ治療法の確立	蛭名耕介	整形外科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
140	卵巣癌腹膜播種を制御する腹水中骨髄由来細胞の同定とその役割の検討	磯部晶	産科婦人科	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
141	甲状腺におけるガレクチン-3の過剰発現は甲状腺癌を誘発するのか？	中原晋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
142	腎移植患者に対するESAと天然型Vitamin D治療	濱野高行	腎臓内科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
143	Wnt/decorin経路を介した造血幹細胞制御の解明	一井倫子	血液・腫瘍内科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
144	前立腺癌浸潤・転移における骨髄由来細胞の役割の検討	藤田和利	泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
145	転移性腎細胞癌における診断、治療選択に有用なバイオマーカーの開発	植村元秀	泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
146	発達障害児(者)支援事業	谷池雅子	小児科	3,360,000	委	堺市
147	経血管的治療IVRに関する研究	大須賀慶悟	放射線診断科	1,000,000	委	独立行政法人国立がん研究センター
148	小児血液腫瘍マーカー中央診断の臨床的有用性に関する研究	橋井佳子	小児科	1,000,000	委	独立行政法人国立成育医療研究センター
149	タウ蛋白の病態に関連する根治薬開発	田中稔久	神経科・精神科	3,000,000	委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
150	原発性中性脂肪蓄積心筋血管症の集積する地域集団におけるコホート研究	平野賢一	循環器内科	1,600,000	委	独立行政法人国立循環器病研究センター
151	中性脂肪蓄積心筋血管症の病態と診断法の開発	平野賢一	循環器内科	500,000	委	独立行政法人国立循環器病研究センター

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
152	呼吸器悪性腫瘍における画像抽出方法の考案や最適化に関する研究	富山憲幸	放射線部	600,000	委 独立行政法人国立がん研究センター
153	呼吸器悪性腫瘍における画像抽出方法の考案や最適化に関する研究	富山憲幸	放射線診断科	600,000	委 独立行政法人国立がん研究センター
154	画像診断に対する多施設共同臨床試験の体制確立に関する研究	富山憲幸	放射線部	1,000,000	委 独立行政法人国立がん研究センター
155	画像診断に対する多施設共同臨床試験の体制確立に関する研究	富山憲幸	放射線診断科	1,000,000	委 独立行政法人国立がん研究センター
156	手術創の軽減に寄与する機器および手術手技の開発に関する研究	竹政伊知朗	消化器外科	500,000	委 独立行政法人国立がん研究センター
157	WT1ペプチドワクチン療法の効果増強法の開発	岡芳弘	免疫・アレルギー・内科	1,500,000	委 独立行政法人国立がん研究センター
158	次世代医療機器評価指標作成事業(再生医療分野)	西田幸二	眼科	4,700,000	委 国立医薬品食品衛生研究所
159	頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為化比較試験(CAS-CARE)	渡邊嘉之	放射線診断科	1,023,750	委 財団法人先端医療振興財団
160	症例選択基準の選定・最適化にむけたデータ評価に関する研究	山下静也	循環器内科	8,580,000	委 独立行政法人医薬基盤研究所
161	他家角膜上皮細胞より作製した細胞株を用いた角膜上皮細胞再生治療法の開発	西田幸二	眼科	34,000,000	委 独立行政法人医薬基盤研究所
162	難治性消化器癌の革新的なRNA創薬・治療の実現化	森正樹	消化器外科	20,001,800	委 独立行政法人医薬基盤研究所
163	新規脳梗塞治療薬を目指した機能的組織再生促進医薬の開発	玉井克人	皮膚科	18,720,000	委 独立行政法人科学技術振興機構
164	Clq補体活性抑制によるSLE治療薬の開発	富田哲也	整形外科	1,495,000	委 独立行政法人科学技術振興機構
165	慢性炎症におけるガイドンス因子の病的意義の解明とその制御	熊ノ郷淳	免疫・アレルギー・内科	26,000,000	委 独立行政法人科学技術振興機構
166	劇症型心筋炎の画期的診断技術の確立	南野哲男	循環器内科	1,500,000	委 独立行政法人科学技術振興機構
167	広域・多人数調査のための視線解析システムの研究開発	不二門尚	眼科	111,800	委 独立行政法人科学技術振興機構
168	統合失調症発症脆弱性因子Dysbindinの機能解析	橋本亮太	神経科・精神科	3,900,000	委 独立行政法人科学技術振興機構
169	ナノ粒子-癌抗原ペプチドを用いた肝癌・消化器癌免疫治療法の開発	巽智秀	消化器内科	23,920,000	委 独立行政法人科学技術振興機構
170	ヒト由来の培養促進添加物の開発	澤芳樹	心臓血管外科	5,400,000	委 独立行政法人科学技術振興機構

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
171	染色体異常症候群における合併症の発症メカニズムの解明	北畠康司	小児科	19,110,000	委	独立行政法人科学技術振興機構
172	誘導軟骨前駆細胞の組織形成能および腫瘍形成能の解析	吉川秀樹	整形外科	2,522,000	委	独立行政法人科学技術振興機構
173	ヒトでの脳障害後の皮質脊髄路の可塑性制御機構の解明	望月秀樹	神経内科・脳卒中科	14,430,000	委	独立行政法人科学技術振興機構
174	高解像度人工網膜電極の開発・評価	不二門尚	眼科	14,100,000	委	文部科学省
175	日本の特長を活かしたBMIの統合的研究開発	吉峰俊樹	脳神経外科	46,750,000	委	文部科学省
176	革新的技術を活用し、加齢による脳機能低下と異常蛋白蓄積につながる病理過程の上流を追求・解明し、認知症の血液診断マーカーと治療薬を開発する	武田雅俊	神経科・精神科	69,380,000	委	文部科学省
177	iPS細胞を用いた角膜再生治療法の開発	西田幸二	眼科	169,100,000	委	文部科学省
178	iPS細胞を用いた心筋細胞移植の安全性と有効性の検証	澤芳樹	心臓血管外科	76,000,000	委	文部科学省
179	炭素11標識メチオニンによる悪性脳腫瘍のPET診断	畑澤順	核医学診療科	8,956,000	委	国立大学法人北海道大学
180	炭素11標識メチオニンによる悪性脳腫瘍のPET診断	畑澤順	放射線部	8,956,000	委	国立大学法人北海道大学
181	IT融合による新社会システムの開発・実証プロジェクト/ヘルスケア分野/角膜再生医療の普及のための診断・治療IT支援システム開発・ビジネスモデル	西田幸二	眼科	10,944,550	委	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
182	次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/生体内で自己組織の再生を促すセルフリー型再生デバイスの開発(幹細胞ニッチ制御による自己組織再生型心血管デバイスの基盤開発)	澤芳樹	心臓血管外科	82,666,450	委	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
183	次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/少量の細胞により生体内で自己組織の再生を促す自律成熟型再生デバイスの開発(生体内で自律的に成熟する臓器再生デバイスのための基盤研究開発)	吉川秀樹	整形外科	5,759,000	委	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
184	ヒト幹細胞産業応用促進基盤技術開発/ヒト幹細胞実用化に向けた評価基盤技術開発/ヒト幹細胞の安定的な培養・保存技術の研究開発	吉川秀樹	整形外科	12,328,000	委	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
185	環境・医療分野の国際研究開発・実証プロジェクト/先進的医療機器システムの国際研究開発及び実証/再生・細胞医療技術および製造インフラ最適化の研究開発	西田幸二	眼科	55,468,000	委	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
186	次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/生体内で自己組織の再生を促すセルフリー型再生デバイスの開発(幹細胞ニッチ制御による自己組織再生型心血管デバイスの基盤開発)	澤芳樹	心臓血管外科	5,597,100	委	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
187	不妊治療効率向上を目的とした低侵襲子宮着床能判定装置の開発	木村正	産科婦人科	6,808,165	委	経済産業省
188	不妊治療効率向上を目的とした低侵襲子宮着床能判定装置の開発	木村正	産科婦人科	680,816	委	経済産業省
189	脊髄損傷患者に対するリハビリテーションを併用した神経再生法の開発	岩月幸一	脳神経外科	18,480,000	委	筑波大学

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
190	農林水産物・食品の機能性等を解析・評価するための基盤技術の開発(タンニン類に着目したリンゴ・茶の生体調節機能の医学的検証と高含有品種育成など活用に関する研究開発)	森下竜一	老年・高血圧内科	1,318,000	委	農林水産技術会議事務局
191	ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療	森正樹	消化器外科	5,100,000	委	文部科学省
192	癌細胞が特異的に生成するシェディング産物の網羅的解析による癌の早期診断システムの開発における尿中バイオマーカー(タンパク質断片)の探索及び胃がん試料と臨床情報の収集	土岐祐一郎	消化器外科	2,000,000	委	文部科学省
193	遺伝子・細胞・組織工学の国際的技術を集結させた心筋組織の構築と心不全治療への応用	澤芳樹	心臓血管外科	23,430,000	委	独立行政法人日本学術振興会
194	沖縄県における難治性悪性腫瘍の地域的特性の解明と新規治療法の開発に関する整理事業	小川和彦	放射線治療科	2,000,000	委	琉球大学
195	基礎医学研究者育成プログラム	奥村明之進	呼吸器外科	29,262,000	委	東京大学
196	患者別に機能発現する階層構造インプラント	吉川秀樹	整形外科	54,579,450	補	文部科学省
197	免疫難病治療のための次世代型抗体医薬開発	武田吉人	呼吸器内科	26,944,000	補	文部科学省
198	大阪大学における膵島分離および新規免疫抑制療法を用いた膵島移植技術の開発	伊藤壽記	消化器外科	1,165,910	補	文部科学省
199	卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	木村正	産科婦人科	1,000,000	補	文部科学省
200	腸内フローラ操作による免疫疾患の新規制御法の開発	熊ノ郷淳	免疫・アレルギー内科	9,527,708	補	文部科学省
201	ペリオスチン制御による炎症関連疾患の新規治療法の開発	谷山義明	老年・高血圧内科	40,000,000	補	文部科学省
202	皮質脳波を用いたワイヤレス体内埋込型運動・意思伝達機能補填装置	吉峰俊樹	脳神経外科	20,000,000	補	文部科学省
203	角膜上皮幹細胞疲弊症に対する自己培養口腔粘膜上皮細胞シート移植の多施設共同臨床試験	西田幸二	眼科	45,793,000	補	文部科学省
204	オキシム誘導体による新規循環器治療の開発	西宏之	心臓血管外科	2,000,000	補	文部科学省
205	脈絡膜上-経網膜刺激法による歩行可能な人工網膜の開発	不二門尚	眼科	14,000,000	補	文部科学省
206	卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	富山憲幸	放射線部	1,000,000	補	文部科学省
207	卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	富山憲幸	放射線診断科	1,000,000	補	文部科学省
208	iPS細胞を利用した創薬研究支援事業	澤芳樹	心臓血管外科	249,003,000	補	文部科学省

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
209	ハイリスク大動脈弁狭窄症患者に対する経カテーテル的大動脈弁植込み術の有用性の評価-日本における大動脈弁狭窄症に対する総括的治療戦略の構築-	澤芳樹	心臓血管外科	52,000,000	補	厚生労働省
210	重症心不全に対する骨格筋芽細胞シート移植による心筋再生治療の実用化研究	澤芳樹	心臓血管外科	36,400,000	補	厚生労働省
211	小児重症拡張型心筋症へのbridge-to-transplantation/recoveryを目指した骨格筋芽細胞シートの開発と実践	澤芳樹	心臓血管外科	149,500,000	補	厚生労働省
212	固形がん幹細胞を標的とした革新的治療法の開発に関する研究	森正樹	消化器外科	120,000,000	補	厚生労働省
213	精神疾患の生物学的病態解明研究-最新の神経科学・分子遺伝学との融合-	武田雅俊	神経科・精神科	23,500,000	補	厚生労働省
214	胎児・新生児肺低形成の診断・治療実態に関する調査研究	臼井規朗	小児外科	39,800,000	補	厚生労働省
215	アレルギー疾患のダイナミックな変化とその背景因子の横断的解析による医療経済の改善効果に関する調査研究	片山一郎	皮膚科	14,625,000	補	厚生労働省
216	結節性硬化症の皮膚病変に対する有効で安全性の高い治療薬の開発と実用化	金田真理	皮膚科	169,000,000	補	厚生労働省
217	ブレイン・マシン・インターフェースによる運動・コミュニケーション機能支援装置の臨床研究	平田雅之	脳神経外科	39,000,000	補	厚生労働省
218	移植治療後の慢性期完全脊髄損傷患者のリハビリテーションと脳機能再構成および脊髄再生との関連性についての評価法の開発	岩月幸一	脳神経外科	9,432,000	補	厚生労働省
219	読書が可能な人工視覚システム(脈絡膜上-経網膜電気刺激(STS)法)の実用化	不二門尚	眼科	39,000,000	補	厚生労働省
220	体幹保持機能障害のある身体障害者に対して生体内3次元解析システムを用いた脊椎骨構築および動態情報フィードバック型革新的体幹保持デバイスの開発	菅本一臣	整形外科	3,811,000	補	厚生労働省
221	「痛み」に関する教育と情報提供システムの構築に関する研究	柴田政彦	麻酔科	5,200,000	補	厚生労働省
222	表皮水疱症に対する間葉系幹細胞移植再生医療の実用化研究	玉井克人	皮膚科	52,000,000	補	厚生労働省
223	免疫系を保持した次世代型B型肝炎ウイルス感染小動物モデルの開発とその応用	竹原徹郎	消化器内科	100,000,000	補	厚生労働省
224	癌特異的アポトーシスを誘導する革新的分子標的薬による難治性皮膚癌に対する治療薬の医師主導臨床試験による実用化開発	片山一郎	皮膚科	172,711,000	補	厚生労働省
225	中性脂肪蓄積心臓血管症に対する中鎖脂肪酸を含有する医薬品の開発	平野賢一	循環器内科	43,314,000	補	厚生労働省
226	TORC及びHDAC制御機構の解明と新規低分子化合物による神経疾患治療法の開発	佐々木 勉	脳卒中センター	7,670,000	補	独立行政法人日本学術振興会
227	シリアスゲームを取り入れた卒前医療安全教育の教材開発(繰越分)	中島 和江	中央クオリティマネジメント部	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
228	敗血症・多臓器不全における内在性幹細胞機能障害の解析と細胞移植再生治療の開発	松本 直也	高度救命救急センター	4,550,000	補 独立行政法人日本学術振興会
229	可変ブレーキを用いた下肢荷重トレーニング機器の開発	木村 佳記	リハビリテーション部	780,000	補 独立行政法人日本学術振興会
230	腫瘍原性チロシンキナーゼ依存性細胞増殖機構の弱点の解析	水木 満佐央	化学療法部	910,000	補 独立行政法人日本学術振興会
231	新世代PETにおける腫瘍内集積不均一と生物学的要因・治療効果との関連に関する研究	巽 光朗	放射線部	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
232	ミトコンドリア傷害の抑制による肺虚血再灌流障害制御の試みと新たな臓器保存液の開発	南 正人	手術部	910,000	補 独立行政法人日本学術振興会
233	股関節の生体内動態解析評価システムの開発	坂井 孝司	リハビリテーション部	520,000	補 独立行政法人日本学術振興会
234	敗血症によって惹起される細胞性免疫能の抑制状態の解析と治療	大田 典之	集中治療部	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
235	創薬分野の課題に対する科学的根拠に基づいた定量的予測及び評価方法の研究	牧江 俊雄	未来医療センター	296,517	補 独立行政法人日本学術振興会
236	糖尿病におけるアルブミン尿、蛋白尿出現メカニズムの糖鎖からの検討	岩谷 博次	血液浄化部	650,000	補 独立行政法人日本学術振興会
237	小児悪性腫瘍に対するヘッジホグシグナル系阻害剤を用いた分子標的治療に関する研究	野村 元成	小児外科	910,000	補 独立行政法人日本学術振興会
238	双方向の再生軸索を含む新しい神経移植法に関する研究	谷川 知子	形成外科	780,000	補 独立行政法人日本学術振興会
239	シリアスゲームを取り入れた卒前医療安全教育の教材開発	中島 和江	中央クオリティマネジメント部	4,550,000	補 独立行政法人日本学術振興会
240	大型骨欠損に対する次世代骨再生技術の開発	名井 陽	未来医療センター	6,760,000	補 独立行政法人日本学術振興会
241	選好構成理論の実証のためのシステム開発とショッピングサイトへの応用	森藤 ちひろ	中央クオリティマネジメント部	78,000	補 独立行政法人日本学術振興会
242	腎代謝ストレスに対するオートファジーの機能検討	木村 友則	血液浄化部	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
243	トリプレットリピート病におけるリピート伸長機構の解明と制御	中森 雅之	リハビリテーション部	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
244	アペリンによる網膜血管障害疾患の新規治療	崎元 晋	眼科	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
245	心不全における心腎連関のメカニズムー機能的腎予備力評価からのアプローチ	真野 敏昭	卒後教育開発センター	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
246	重症インフルエンザ肺炎における過剰免疫反応(サイトカインストーム)調節の可能性	関 雅文	感染制御部	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
247	間葉系幹細胞を用いた小児難治性白血病に対する腫瘍選択的アポトーシス誘導効果	宮村 能子	小児科	2,159,183	補 独立行政法人日本学術振興会
248	骨折変形治癒に対する3次元評価システムの確立	三宅 潤一	リハビリテーション部	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
249	呼吸相での換気補助が可能な人工呼吸法の開発	内山 昭則	集中治療部	780,000	補 独立行政法人日本学術振興会
250	疼痛の慢性化における注意機能のかかわり	萩平 哲	集中治療部	2,340,000	補 独立行政法人日本学術振興会
251	アポトーシス細胞を模倣した抗炎症スマート粒子の設計と新たな急性疾患治療法の開発	齋藤 充弘	未来医療センター	65,000	補 独立行政法人日本学術振興会
252	軸索再生効果の高い嗅神経鞘細胞の誘導と移植用三次元デバイスの開発	森脇 崇	脳神経外科	780,000	補 独立行政法人日本学術振興会
253	脂質代謝調節因子Lipin1の制御による肥満解消への戦略	石本 憲司	未来医療センター	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
254	小児患者における鎮静に伴う有害事象の低減を目的とするガイドラインの開発	高橋 りょう子	中央クオリティマネジメント部	650,000	補 独立行政法人日本学術振興会
255	プロドラッグを代謝する薬物代謝酵素の遺伝的多型の臨床的意義について	須崎 友紀	未来医療センター	2,072,518	補 独立行政法人日本学術振興会
256	小児橋神経腫に対するWT1ワクチン療法の開発と抗腫瘍免疫動態の解析	松村 梨紗	小児科	1,690,000	補 独立行政法人日本学術振興会
257	次世代のMRI撮像法に対応した信号対ノイズ比評価法の開発	上口 貴志	放射線部	780,000	補 独立行政法人日本学術振興会
258	microRNAによるiPS化ADSCを用いた肝組織の再設計・構築と肝不全治療	谷田 司	消化器外科	1,300,000	補 独立行政法人日本学術振興会
259	心臓移植後の拒絶反応への挑戦—細胞シート移植を応用した新しい免疫抑制療法の開発—	斎藤 俊輔	心臓血管外科	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
260	自己組織由来神経幹細胞からの神経細胞分化誘導法の開発	大西 諭一郎	未来医療センター	1,040,000	補 独立行政法人日本学術振興会
261	パーキンソン病に対する脳深部刺激療法が感覚認知に与える影響の解明	圓尾 知之	脳卒中センター	1,300,000	補 独立行政法人日本学術振興会
262	前庭神経系におけるTRPV1受容体の機能解析	鎌倉 武史	耳鼻咽喉科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
263	生体共焦点顕微鏡を用いた角膜輪部の観察による角膜上皮幹細胞ニッチに関する研究	大家 義則	眼科	650,000	補 独立行政法人日本学術振興会
264	長幹骨の内軟骨性骨化におけるレチノイン酸の機能解明	峯岸 芳樹	形成外科	1,170,000	補 独立行政法人日本学術振興会
265	選好構成理論の実証のためのシステム開発とショッピングサイトへの応用	森藤 ちひろ	中央クオリティマネジメント部	312,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
266	膝関節疾患に対する安全かつ有効な膝伸筋トレーニングの開発	木村 佳記	リハビリテーション部	26,000	補 独立行政法人日本学術振興会
267	肝細胞CTGFによる肝線維化・肝発癌制御機構の解明	小玉 尚宏	消化器内科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
268	中枢神経における鉄の沈着が神経変性に寄与するメカニズムに関する研究	別宮 豪一	リハビリテーション部	2,860,000	補 独立行政法人日本学術振興会
269	新規実験系による血栓形成の制御分子の解析	富山佳昭	輸血部	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
270	卵巣癌細胞が分泌する胎盤増殖因子に焦点をあてた新規抗血管新生治療の可能性の検討	坂田 正博	総合周産期母子医療センター	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
271	院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築に関する研究	入澤 太郎	高度救命救急センター	390,000	補 独立行政法人日本学術振興会
272	敗血症性脳症の積極的治療介入方法の探索	松本 直也	高度救命救急センター	520,000	補 独立行政法人日本学術振興会
273	ナラティブ・アプローチによる中堅看護師のキャリア形成プログラムの開発	大野 由美子	看護部	130,000	補 独立行政法人日本学術振興会
274	ブレインマシンインターフェイスによるヒューマノイドロボットの表情・感情表出制御	MORRIS SHAYNE.J	脳神経外科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
275	コーチングを用いたコミュニケーション・スキルの自己学習支援システムの開発	森藤 ちひろ	中央クオリティマネジメント部	1,560,000	補 独立行政法人日本学術振興会
276	次世代シーケンサーを用いた拡張型心筋症の遺伝子解析	平 将生	卒後教育開発センター	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
277	自己組織化を促進する大動脈治癒型ステントグラフトの開発	島村 和男	心臓血管外科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会
278	肝癌幹細胞の細胞死回避機構の解析	清水 聡	消化器内科	1,950,000	補 独立行政法人日本学術振興会
279	次世代シーケンサーによるエピゲノム解析を用いた新規心不全治療ターゲット分子探索	肥後 修一郎	循環器内科	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
280	頸動脈プラーク厚および超音波輝度の経時的变化と脳血管イベントとの関連	岡崎 周平	脳卒中センター	2,470,000	補 独立行政法人日本学術振興会
281	新規神経栄養因子BAFFによるALS治療の試み	多田 智	リハビリテーション部	2,080,000	補 独立行政法人日本学術振興会
282	活性化ミクログリアイメージングを目指したC-11及びF-18標識薬剤合成法の研究	仲 定宏	放射線部	2,470,000	補 独立行政法人日本学術振興会
283	Direct Reprogrammingを応用したインスリン産生細胞の誘導	岩上 佳史	消化器外科	1,430,000	補 独立行政法人日本学術振興会
284	ダイナミック癌幹細胞仮説に基づいた新規癌幹細胞標的治療の開発	太田 勝也	消化器外科	1,820,000	補 独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
285	エキソーム解析を利用したスキルス胃癌の原因遺伝子の解明	浜川 卓也	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
286	難治性皮膚瘻に対する、自己脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた組織再生医療の研究	浜部 敦史	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
287	細胞周期解析によるIFN α /5-FU療法の機序解明	前田 栄	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
288	エクソームを利用した抗癌剤感受性予測および新規核酸治療法の開発	田中 晃司	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
289	リプログラミング関連miRNAによる肝細胞癌への影響および治療への応用	古賀 陸人	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
290	生体イメージングによる大腸癌の転移と細胞周期の可視化	賀川 義規	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
291	滑膜肉腫特異的融合遺伝子の機能解析および肉腫宿主細胞の相互作用の検討	竹中 聡	整形外科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
292	臓器移植後急性腎障害の早期発見および早期回復—新しい指標を用いての検討—	井口 直也	集中治療部	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
293	ヒト精細胞の新しい判定基準の作成	奥田 英伸	泌尿器科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
294	初代培養細胞塊をもちいた子宮肉腫の新しい治療戦略の樹立	木村 敏啓	総合周産期母子医療センター	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
295	前庭神経系に発現するセロトニン受容体3の機能解析	滝本 泰光	耳鼻咽喉科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
296	頭頸部癌幹細胞を用いた放射線・抗癌剤耐性の機序解明	福角 隆仁	耳鼻咽喉科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
297	ガレクチン-3による腫瘍の免疫回避	花本 敦	耳鼻咽喉科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
298	脈絡膜新生血管の方向性制御に関する基礎的メカニズムの解明	鈴木 三保子	眼科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
299	高齢双生児を対象とした外表加齢疾患に関する因子の探索	市堀 涼子	形成外科	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
300	逐次近似型画像再構成法を利用して、Early CT signの描出能向上を目指す	田中 千香子	放射線部	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
301	クラッシュ症候群における臓器障害メカニズムの解明:新規抗酸化剤による治療戦略	中川 淳一郎	高度救命救急センター	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
302	コリン作動性抗炎症経路を介した致死的熱中症の新たな治療戦略の開発	山川 一馬	高度救命救急センター	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
303	重症敗血症におけるシンバイオティクス療法の確立	山田 知輝	高度救命救急センター	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

小計

19

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
304	シェーグレン症候群におけるT細胞分化・ケモカインレセプター発現・機能の解明	森本 泰成	歯科治療室	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
305	治験の実施に関する研究[小児用補助人工心臓]	澤芳樹	心臓血管外科	1,000,000	補	厚生労働省
306	慢性特発性血小板減少性紫斑病(ITP)に対するリツキシマブの有効性と安全性の検討を目的としたⅢ相オープンラベル試験	富山佳昭	輸血部	1,400,000	補	厚生労働省
307	治験の実施に関する研究[ブリリアントブルーG250]	西田幸二	眼科	500,000	補	厚生労働省
308	治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	澤芳樹	未来医療センター	20,170,000	補	厚生労働省
309	重症新生児のアウトカム改善に関する多施設共同研究	和田和子	小児科	1,000,000	補	厚生労働省
310	ハイリスク大動脈弁狭窄症患者に対する経カテーテル的大動脈弁植込み術の有用性の評価-日本における大動脈弁狭窄症に対する総括的治療戦略の	澤芳樹	心臓血管外科	34,590,334	補	厚生労働省
311	血液凝固異常症に関する調査研究	富山佳昭	輸血部	5,000,000	補	厚生労働省
312	地域における産科医、小児科医の実態把握に関する研究	和田和子	小児科	2,000,000	補	厚生労働省
313	小児重症拡張型心筋症へのbridge-to-transplantation/recoveryを目指した骨格筋芽細胞シートの開発と実践	澤芳樹	心臓血管外科	65,020,134	補	厚生労働省
314	結節性硬化症の皮膚病変に対する有効で安全性の高い治療薬の開発と実用化	中村 歩	薬剤部	7,000,000	補	厚生労働省
315	重症心不全に対する骨格筋芽細胞シート移植による心筋再生治療の実用化研究	澤芳樹	心臓血管外科	7,013,850	補	厚生労働省
316	関節軟骨病変に対する自己滑膜間葉系幹細胞由来三次元人口組織移植法	齋藤 充弘	未来医療センター	620,917	補	厚生労働省
317	研究開発施設共用等促進費補助金(橋渡し研究加速ネットワークプログラム)/TR実践のための戦略的高機能拠点整備	澤 芳樹	未来医療センター	130,309,822	補	文部科学省
318	研究開発施設共用等促進費補助金(橋渡し研究加速ネットワークプログラム)卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	名井 陽	未来医療センター	16,848,000	補	文部科学省
319	科学技術戦略推進費補助金 ウガンダにおけるマリアワクチンの臨床研究拠点形成	名井 陽	未来医療センター	6,567,239	補	文部科学省
320	ER流体を用いた立位での下肢の等速度運動装置の開発	木村佳記	リハビリテーション部	936,000	委	独立行政法人科学技術振興機構
321	医療サービスの継続性を担保する電子カルテ秘密分散バックアップ技術の研究開発	松村泰志	医療情報部	4,030,845	委	総務省
322	血栓形成における血小板インテグリンの機能発現機構の解析	富山佳昭	輸血部	1,500,000	委	独立行政法人国立循環器病研究センター

小計

19

合計

322

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
----	-------	-------	------	----	----------

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
1	Minamino T et al.	EPO-AMI-II study investigators. Design and Rationale of Low-Dose Erythropoietin in Patients with ST-Segment Elevation Myocardial Infarction (EPO-AMI-II Study): A Randomized Controlled Clinical Trial.	Cardiovasc Drugs Ther.	循環器内科
2	Omori Y et al.	L-Carnitine prevents the development of ventricular fibrosis and heart failure with preserved ejection fraction in hypertensive heart disease.	J Hypertens.	循環器内科
3	Sanada S et al.	Smoking promotes subclinical atherosclerosis in apparently healthy men: 2-year ultrasonographic follow-up.	Circ J.	循環器内科
4	Suna S et al.	Decreased mortality associated with statin treatment in patients with acute myocardial infarction and lymphotoxin-alpha C804A polymorphism.	Atherosclerosis.	循環器内科
5	Nakatani D et al.	Osaka Acute Coronary Insufficiency Study (OACIS) Investigators. Impact of Beta Blockade Therapy on Long-Term Mortality After ST-Segment Elevation Acute Myocardial Infarction in the Percutaneous Coronary Intervention Era.	Am J Cardiol.	循環器内科
6	濱野 高行	Reply to "FGF23 adds value to risk prediction in patients with chronic kidney disease"	Bone	腎臓内科
7	山本 陵平	A candidate gene approach to genetic contributors to the development of IgA nephropathy	Nephrol Dial Transplant	腎臓内科
8	山本 陵平	Self-reported sleep duration and prediction of proteinuria: a retrospective cohort study.	Am J Kidney Dis	腎臓内科
9	猪阪 善隆	The protective role of autophagy against aging and acute ischemic injury in kidney proximal tubular cells.	Autophagy	腎臓内科
10	川田 典孝	Towards developing new strategies to reduce the adverse side-effects of nonsteroidal anti-inflammatory drugs.	Clin Exp Nephrol	腎臓内科
11	中野 智香子	Intact fibroblast growth factor 23 levels predict incident cardiovascular event before but not after the start of dialysis.	Bone	腎臓内科
12	Hayato Hikita, et al.	Bak deficiency inhibits liver carcinogenesis: A casual link between apoptosis and carcinogenesis	Journal of Hepatology	消化器内科

小計

12

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
13	Minoru Shigekawa, et al.	Pancreatitis STAT3 protects mice against caerulein-induced pancreatitis via PAP1 induction	The American Journal of Pathology	消化器内科
14	Shinichiro Shinzaki, et al.	Altered oligosaccharide structures reduce colitis induction in mice defective in β -1,4-galactosyltransferase.	Gastroenterology	消化器内科
15	Satoshi Shimizu, et al.	Inhibition of autophagy potentiates the antitumor effect of the multikinase inhibitor sorafenib in hepatocellular carcinoma.	International Journal of Cancer	消化器内科
16	Takatoshi Nawa, et al.	Interferon- α suppresses hepatitis B virus enhancer II activity via the protein kinase C pathway	Virology	消化器内科
17	高原充佳	Association of diabetes mellitus and hemodialysis with ankle pressure and ankle-brachial index in Japanese patients with critical limb ischemia.	Diabetes Care 35 (10), 2000-2005, 2012	内分泌・代謝内科
18	片上直人	Adiponectin G276T polymorphism is associated with cardiovascular disease in Japanese patients with type 2 diabetes.	Atherosclerosis, 220 (2), 437-442, 2012	内分泌・代謝内科
19	高原充佳	Effect of metformin on hepatic glucose production in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	Endocr. J. 59, 845-847, 2012	内分泌・代謝内科
20	入江陽子	Maximum carotid intima-media thickness improves the prediction ability of coronary artery stenosis in type 2 diabetic patients without history of coronary artery disease.	Atherosclerosis 221, 438-444, 2012	内分泌・代謝内科
21	高原充佳	Statistical reassessment of the association between Waist Circumference and Clustering Metabolic Abnormalities in Japanese Population. J.	Atheroscler. Thromb. 19 (8), 767-778, 2012	内分泌・代謝内科
22	安田哲行	Serum vitamin D levels are decreased and associated with thyroid volume in female patients with newly onset Graves' disease.	Endocrine 42, 739-741, 2012	内分泌・代謝内科
23	片上直人	Ultrasonic tissue characterization of carotid plaque improves the prediction of cardiovascular events in diabetic patients: A Pilot Study.	Diabetes Care 35, 2640-2666, 2012	内分泌・代謝内科
24	佐々木周伍	A large adrenal ganglioneuroma: a case report.	Intern. Med. 51(17), 2365-70, 2012	内分泌・代謝内科
25	河盛段	Rosiglitazone promotes PPARgamma dependent and independent alterations in gene expression in mouse islets.	Endocrinology 153, 4593-9, 2012	内分泌・代謝内科

小計

13

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
26	金藤秀明	Involvement of oxidative stress in suppression of insulin biosynthesis under diabetic conditions.	Int. J. Mol. Sci. 13, 13680-13690, 2012	内分泌・代謝内科
27	片上直人	Plasma pentraxin 3 levels are associated with carotid IMT in type 1 diabetic patients.	Diabetes Res. Clin. Pract. 94, e57-60, 2012	内分泌・代謝内科
28	Kishida K	Molecular mechanisms of diabetes and atherosclerosis: Role of adiponectin	(Endocr Metab Immune Disord Drug Targets) 12(2):118-31	内分泌・代謝内科
29	Hirata A	High prevalence of gastroesophageal reflux symptoms in type 2 diabetics with hypoadiponectinemia and metabolic syndrome	(Nutr Metab (Lond)) 9(1): 4	内分泌・代謝内科
30	Nakanishi-Minami T	Carotid intima-media thickness, but not visceral fat area or adiponectin, correlates with intracoronary stenosis detected by multislice computed tomography in people with type 2 diabetes and hypertension	(Diabetes Res Clin Pract) 95(1): e23-6	内分泌・代謝内科
31	Hirata A	Contribution of glucocorticoid-mineralocorticoid receptor pathway on the obesity-related adipocyte dysfunction	(Biochem Biophys Res Commun) 419(2):182-7	内分泌・代謝内科
32	Kishida K	Clinical importance of assessment of type 2 diabetes mellitus with visceral obesity. A Japanese perspective	(Curr Diabetes Rev) 8(2): 84-91	内分泌・代謝内科
33	Yamaoka M	A case of long-standing autoimmune type 1 diabetes with common variable immunodeficiency	(Diabetology International) 3(1):50-3	内分泌・代謝内科
34	Kishida K	Visceral adiposity as a target for the management of the metabolic syndrome: A Japanese perspective	(Ann Med) 44(3):233-41	内分泌・代謝内科
35	Hirata A	Metabolic syndrome correlates with polyvascular lesions detected by systemic vascular ultrasonography in Japanese people with type 2 diabetes	(Diabetes Res Clin Pract) 96(2):e26-9	内分泌・代謝内科
36	Nakanishi-Minami T	Sleep-wake cycle irregularities in type 2 diabetics.	(Diabetol Metab Syndr) 4(1):18	内分泌・代謝内科
37	Hirata A	High serum S100A8/A9 levels and high cardiovascular complication rate in type 2 diabetics with ultrasonographic low carotid plaque density	(Diabetes Res Clin Pract) 97(1):82-90,	内分泌・代謝内科
38	Nakanishi-Minami T	Metabolic syndrome correlates intracoronary stenosis detected by multislice computed tomography in male subjects with sleep-disordered breathing	(Diabetol Metab Syndr) 4: 6	内分泌・代謝内科

小計

13

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
39	Kishida K	Importance of Assessing the Effect of Statins on the Function of High-Density Lipoproteins on Coronary Plaque	(Cardiovasc Hematol Disord Drug Targets) 12(1):28-34	内分泌・代謝内科
40	Fujishima Y	Efficacy of liraglutide, a glucagon-like peptide-1 (GLP-1) analogue, on body weight, eating behavior, and glycemic control, in Japanese obese type 2 diabetes.	(Cardiovasc Diabetol)11:107	内分泌・代謝内科
41	Maeda N	Telmisartan ameliorates insulin sensitivity by activating the AMPK/SIRT1 pathway in skeletal muscle of obese db/db mice	(Cardiovasc Diabetol) 8;11(1):139	内分泌・代謝内科
42	Yamaoka M	A pilot investigation of visceral fat adiposity and gene expression profile in peripheral blood cells	(PLoS One) 7(10):e47377	内分泌・代謝内科
43	辻野 和之・武田 吉人	Tetraspanin CD151 protects against pulmonary fibrosis by maintaining epithelial integrity.	Am J Respir Crit Care Med. 2012;186(2):170-80.	呼吸器内科
44	豊福利彦・熊ノ郷淳	Endosomal sorting by Semaphorin 4A in retinal pigment epithelium supports photoreceptor survival.	Genes Dev. 2012 Apr 15;26(8):816-29.	免疫アレルギー内科
45	野島聡・熊ノ郷淳	A point mutation in Semaphorin 4A associates with defective endosomal sorting and causes retinal degeneration.	Nat Commun. 2013;4:1406.	免疫アレルギー内科
46	熊ノ郷淳	Osteoprotection by semaphorin 3A.	Nature. 2012 May 3;485(7396):69-74.	免疫アレルギー内科
47	清水一亘、他	Recognition of highly restricted regions in the β -propeller domain of α IIb by platelet-associated anti- α IIb β 3 autoantibodies in primary immune thrombocytopenia.	Blood (平成24年8月、120巻7号)	血液・腫瘍内科 (輸血部)
48	Congrains CA, Kamide K, et al.	Genetic Variants at the 9q21 locus contribute to atherosclerosis through modulation of ANRIL and CDKN2A/B.	Atherosclerosis 19: 449-455, 2012.	老年・高血圧内科
49	Kawai T, Sugimoto K, et al.	The impact of visit-to-visit variability in blood pressure on renal function.	Hypertension Research 35: 239-243, 2012.	老年・高血圧内科
50	Kawai T, Yamamoto K, et al.	Serum uric acid is an independent risk factor for cardiovascular disease and mortality in hypertensive patients.	Hypertension Research 35: 1082-1092, 2012.	老年・高血圧内科
51	Kawai T, Takeya Y, et al.	Relationship between renal hemodynamic status and aging in patients without diabetes evaluated by renal doppler ultrasonography.	Clinical and Experimental Nephrology 16: 786-791, 2012.	老年・高血圧内科
52	Takeda M, Yamamoto K, et al.	Loss of Angiotensin-converting enzyme2 exaggerates high-calorie diet-induced insulin resistance by reduction of GLUT4 in mice.	Diabetes 65: 223-233, 2013.	老年・高血圧内科

小計

14

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
53	白川 幸俊	THE EFFICACY AND SHORT-TERM RESULTS OF HYBRID THORACIC ENDOVASCULAR REPAIR INTO THE ASCENDING AORTA FOR AORTIC ARCH PATHOLOGIES.	EJCTS	心臓血管外科
54	西 宏之	Efficacy of landiolol hydrochloride for atrial fibrillation after open heart surgery.	Heart Vessels	心臓血管外科
55	福嶋 五月	Choice of cell-delivery route for successful cell transplantation therapy for the heart.	Future Cardiology	心臓血管外科
56	吉岡大輔	Initial report of bridge to recovery in a patient with DuraHeart LVAD.	J Artif Organs. 2013	心臓血管外科
57	川村 匡	Scallop technique of urgent endovascular repair for symptomatic throacoabdominal aortic aneurysm with a ready-made device.	Ann Vasc Surg	心臓血管外科
58	前田 孝一	Successful Transcatheter Aortic Valve Replacement in Bicuspid Aortic Valve	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	心臓血管外科
59	前田 孝一	Surgical Treatment of Coronary Arteriovenous Fistulas and Aortic Valve Insufficiency.	Journal of Cardiac Surgery	心臓血管外科
60	吉岡 大輔	Impact of Early Surgical Treatment on Postoperative Neurologic Outcome for Active Infective Endocarditis Complicated by Cerebral Infarction.	Ann Thorac Surg.	心臓血管外科
61	西 宏之	Efficacy of landiolol hydrochloride for atrial fibrillation after open heart surgery.	Heart Vessels.	心臓血管外科
62	西 宏之	"Frequency, risk factors and prognosis of postoperative hyperbilirubinemia after heart valve surgery."	Cardiology.	心臓血管外科
63	斎藤 俊輔	Recovery of right heart function with temporary right ventricular assist using a centrifugal pump in patients with severe biventricular failure.	J Heart Lung Transplant.	心臓血管外科
64	斎藤 俊輔	Myoblast sheet can prevent the impairment of cardiac diastolic function and late remodeling after left ventricular restoration in ischemic cardiomyopathy.	Transplantation.	心臓血管外科
65	吉岡 大輔	Predictor of Early Mortality for Severe Heart Failure Patients With Left Ventricular Assist Device Implantation.	Circ J.	心臓血管外科

小計

13

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
66	澤 芳樹	Journal of Artificial Organs Editorial Committee. Journal of Artificial Organs 2011. the year in review.	J Artif Organs.	心臓血管外科
67	上野 高義	First pediatric heart transplantation from a pediatric donor heart in Japan.	Circ J.	心臓血管外科
68	澤 芳樹	Tissue engineered myoblast sheets improved cardiac function sufficiently to discontinue LVAS in a patient with DCM: report of a case.	Surg Today.	心臓血管外科
69	川村 匡	A case of mobile and massive calcifications in the left ventricle with unknown etiology.	J Card Surg.	心臓血管外科
70	西 宏之	Cardiac surgery in patients with Gilbert's syndrome.	J Card Surg.	心臓血管外科
71	吉岡 大輔	Initial experience of conversion of Toyobo paracorporeal left ventricular assist device to DuraHeart left ventricular assist device.	Circ J	心臓血管外科
72	甲斐沼 尚	Implantation of a Jarvik 2000 left ventricular assist device as a bridge to eligibility for refractory heart failure with renal dysfunction.	J Artif Organs.	心臓血管外科
73	川村 匡	Exchange of DuraHeart left ventricular assist device via a subcostal approach.	J Artif Organs.	心臓血管外科
74	河村 拓史	Successful treatment of a large primary cardiac lymphoma by surgical resection combined with chemotherapy: report of a case.	Surg Today.	心臓血管外科
75	前田 孝一	Transcatheter Aortic Valve Replacement using DynaCT.	J Card Surg.	心臓血管外科
76	西 宏之	Failed depiction of patent bypass graft due to presence of large lateral costal artery.	Ann Thorac Cardiovasc Surg.	心臓血管外科
77	澤端 章好	Dose pulmonary wedge resection for lung cancer always provide	J Thorac Cardiovasc Surg (2012 Aug; 144(2):518)	呼吸器外科
78	井上 匡美	Surgical intervention for small-cell lung cancer: what is the surgical role?	Gen Thorac Cardiovasc Surg (2012 Jul;60(7):401-5)	呼吸器外科
79	井上 匡美	An accurate and rapid detection of lymph node metastasis in non-small cell lung cancer patients based on one-step nucleic acid amplification assay.	Lung Cancer (2012 Dec; 78(3):212-8)	呼吸器外科
80	新谷 康	Nutrition status of patients undergoing induction chemoradiotherapy for non-small cell lung cancer	Asian Cardiovasc Thorac Ann (2012 Apr; 20(2):172-6)	呼吸器外科
81	中桐 伴行	Immunology mini-review: the basics of T(H)17 and interleukin-6 in transplantation.	Transplant Proc. (2012May; 44(4):1035-40)	呼吸器外科

小計

16

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
82	舟木 壮一郎	Thoracoscopic lobectomy for lung cancer after coronary artery bypass grafting using internal thoracic artery.	Interact Cardiovasc Thorac Surg (2012 Nov; 15(5):928-9)	呼吸器外科
83	神崎 隆	A successful case of a surgical resection for primary lung cancer with polypoid growth in the main pulmonary artery.	European J Cardio-Thorac Surg (2012 May; 41(5):1207)	呼吸器外科
84	神崎 隆	Surgical results and staging of non-small cell lung cancer with interlobar pleural invasion.	Interact CardioVasc Thorac Surg (2012 Jun;14(6):739-42)	呼吸器外科
85	神崎 隆	Surgical management of primary intrathoracic goiters.	Gen Thorac Cardiovasc Surg (2012 Mar; 60(3):171-4)	呼吸器外科
86	Takemasa I.	Potential biological insights revealed by an integrated assessment of proteomic and transcriptomic data in human colorectal cancer.	Int J Oncol, 40(2), 2012	消化器外科
87	Yamashita S.	MicroRNA-372 is associated with poor prognosis in colorectal cancer.	Oncology, 82(4), 2012	消化器外科
88	Kagawa Y.	Transumbilical laparoscopic-assisted appendectomy for children and adults.	Int J Colorectal Dis ,27(3), 2012	消化器外科
89	Mizushima T.	Laparoscopic bladder-preserving surgery for enterovesical fistula complicated with benign gastrointestinal disease.	Case Rep Gastroenterol ,6(2), 2012	消化器外科
90	Miyazaki S.	Emerging methods for preparing iPS cells.	Jpn J Clin Oncol ,42(9), 2012	消化器外科
91	Takahashi H., Haraguchi N.	Biological and clinical availability of adipose-derived stem cells for pelvic dead space repair.	Stem Cells Transl Med ,1(11), 2012	消化器外科
92	Ogino T.	Intraluminal migration of a spacer with small bowel obstruction: a case report of rare complication.	World J Surg Oncol ,10(30), 2012	消化器外科
93	Uemura M.	The features of late local recurrences following curative surgery for rectal cancer.	Hepatogastroenterology ,59(118), 2012	消化器外科
94	Nishimura J.	microRNA-181a is associated with poor prognosis of colorectal cancer.	Oncol Rep ,28(6), 2012	消化器外科
95	Eguchi H.	Arterial stimulation and venous sampling for glucagonomas of the pancreas.	Hepatogastroenterology ,59(113), 2012	消化器外科
96	Marubashi S.	Once-daily prolonged-release tacrolimus in de novo liver transplantation: a single center cohort study.	Hepatogastroenterology ,59(116), 2012	消化器外科
97	Yamada D.	Role of the Hypoxia-Related Gene, JMJD1A, in Hepatocellular Carcinoma: Clinical Impact on Recurrence after Hepatic Resection.	Ann Surg Oncol ,19(3), 2012	消化器外科

小計

16

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
98	Kawamoto K.	Downregulation of TGF- β RII in T effector cells leads to increased resistance to TGF- β -mediated suppression of autoimmune responses in type I diabetes.	Autoimmunity ,45(4), 2012	消化器外科
99	Kobayashi S.	Fibrin Sealant with PGA felt for Prevention of Bile Leakage after Liver Resection.	Hepatogastroenterology , 59(120), 2012	消化器外科
100	Marubashi S.	Steroid-free living donor liver transplantation for HCV--a multicenter prospective cohort study in Japan.	Clin Transplant ,26(6), 2012	消化器外科
101	Miyagaki H.	Performance comparison of peripherally inserted central venous catheters in gastrointestinal surgery: a randomized controlled trial.	Clin Nutr ,31(1), 2012	消化器外科
102	Takiguchi S.	Mapping analysis of ghrelin producing cells in the human stomach associated with chronic gastritis and early cancers.	Dig Dis Sci ,57(5), 2012	消化器外科
103	Takiguchi S.	A comparison of postoperative quality of life and dysfunction after Billroth I and Roux-en-Y reconstruction following distal gastrectomy for gastric cancer: results from a multi-institutional RCT.	Gastric Cancer ,15(2), 2012	消化器外科
104	Fujiwara S.	Clinical trial of the intratumoral administration of labeled DC combined with systemic chemotherapy for esophageal cancer.	J Immunother ,35(6), 2012	消化器外科
105	Hiura Y.	Effects of ghrelin administration during chemotherapy with advanced esophageal cancer patients: a prospective, randomized, placebo-controlled phase 2 study.	Cancer ,118(19), 2012	消化器外科
106	Masuzawa T.	Phase I/II study of S-1 plus cisplatin combined with peptide vaccines for human vascular endothelial growth factor receptor 1 and 2 in patients with advanced gastric cancer.	Int J Oncol ,41(4), 2012	消化器外科
107	Okada K.	Oncofetal protein, IMP-3, a potential marker for prediction of postoperative peritoneal dissemination in gastric adenocarcinoma.	J Surg Oncol ,105(8), 2012	消化器外科
108	Miyata H.	Randomized study of clinical effect of enteral nutrition support during neoadjuvant chemotherapy on chemotherapy-related toxicity in patients with esophageal cancer.	Clin Nutr ,31(3), 2012	消化器外科

小計

11

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
109	Hiura Y.	Fall in plasma ghrelin concentrations after cisplatin-based chemotherapy in esophageal cancer patients.	Int J Clin Oncol ,17(4), 2012	消化器外科
110	Miyagaki H.	DOK2 as a marker of poor prognosis of patients with gastric adenocarcinoma after curative resection.	Ann Surg Oncol ,19(5), 2012	消化器外科
111	Tanaka K.	The significance of abdominal para-aortic lymph node metastasis in patients with lower thoracic esophageal cancer.	Dis Esophagus ,25(2), 2012	消化器外科
112	Hara J.	Laparoscopic intragastric surgery revisited: its role for submucosal tumors adjacent to the esophagogastric junction.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech ,22(3), 2012	消化器外科
113	Miyazaki Y.	Single-port laparoscopic surgery of the distal esophagus: initial clinical experience.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech ,22(3), 2012	消化器外科
114	Hirota M.	A case of simultaneous transvaginal NOTES gastrectomy and vaginal hysterectomy in a patient with gastric submucosal tumor and uterine prolapse.	Asian J Endosc Surg ,5(4), 2012	消化器外科
115	Miyagaki H.	Overexpression of PFTK1 predicts resistance to chemotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Br J Cancer ,106(5), 2012	消化器外科
116	Sugimura K.	Let-7 expression is significant determinant of response to chemotherapy through the regulation of IL-6/STAT3 pathway in esophageal squamous cell carcinoma.	Clin Cancer Res ,18(18), 2012	消化器外科
117	Miyata H.	Clinical relevance of induction triplet chemotherapy for esophageal cancer invading adjacent organs.	J Surg Oncol ,106(4), 2012	消化器外科
118	Takiguchi S.	Clinical trial of ghrelin synthesis administration for upper GI surgery.	Methods Enzymol ,514, 2012	消化器外科
119	Nakajima K.	Esophageal submucosal dissection under steady pressure automatically controlled endoscopy: a preclinical trial in swine.	Endoscopy ,44(12), 2012	消化器外科
120	Tanaka K.	Impact of perioperative administration of synbiotics in patients with esophageal cancer undergoing esophagectomy: a prospective randomized controlled trial.	Surgery ,152(5), 2012	消化器外科
121	Miyagaki H.	Recent trend of internal hernia occurrence after gastrectomy for gastric cancer.	World J Surg ,36(4), 2012	消化器外科
122	Tomimaru Y.	Circulating microRNA-21 as a novel biomarker for hepatocellular carcinoma.	J Hepatol ,56(1), 2012	消化器外科

小計

14

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
123	Tanemura M.	Rapamycin causes upregulation of autophagy and impairs islets function both in vitro and in vivo.	Am J Transplant ,12(1), 2012	消化器外科
124	Kubota M.	Xenon-inhalation computed tomography for noninvasive quantitative measurement of tissue blood flow in pancreatic tumor.	Dig Dis Sci ,57(3), 2012	消化器外科
125	Noda T.	PLOD2 induced under hypoxia is a novel prognostic factor for hepatocellular carcinoma after curative resection.	Liver Int ,32(1), 2012	消化器外科
126	Tomimaru Y.	IGFBP7 downregulation is associated with tumor progression and clinical outcome in hepatocellular carcinoma.	Int J Cancer ,130(2), 2012	消化器外科
127	Nishikawa S.	Genotoxic therapy stimulates error-prone DNA repair in dormant hepatocellular cancer stem cells.	Exp Ther Med ,3(6), 2012	消化器外科
128	Nishikawa S.	microRNA-based cancer cell reprogramming technology (Review)	Exp Ther Med ,4(1), 2012	消化器外科
129	Nishikawa S.	Transcriptomic study of dormant gastrointestinal cancer stem cells.	Int J Oncol ,41(3), 2012	消化器外科
130	Yamamoto, N., Nakayama, T., Kajita, M., Miyake, T., Iwamoto, T., Kim, S. J., Sakai, A., Ishihara, H., Tamaki, Y., Noguchi, S.	Detection of aberrant promoter methylation of GSTP1, RASSF1A, and RARbeta2 in serum DNA of patients with breast cancer by a newly established one-step methylation-specific PCR assay.	Breast Cancer Res Treat, 132(1):165-173,2012.	乳腺・内分泌外科
131	Tsunashima, R., Naoi, Y., Kishi, K., Baba, Y., Shimomura, A., Maruyama, N., Nakayama, T., Shimazu, K., Kim, S. J., Tamaki, Y., Noguchi, S.	Estrogen receptor positive breast cancer identified by 95-gene classifier as at high risk for relapse shows better response to neoadjuvant chemotherapy.	Cancer Lett, 324(1):42-47,2012.	乳腺・内分泌外科
132	Tamaki, Y., Sato, N., Homma, K., Takabatake, D., Nishimura, R., Tsujimoto, M., Yoshidome, K., Tsuda, H., Kinoshita, T., Kato, H., Taniyama, K., Kamio, T., Nakamura, S., Akiyama, F., Noguchi, S.	Japanese One-Step Nucleic Acid Amplification Study, G.: Routine clinical use of the one-step nucleic acid amplification assay for detection of sentinel lymph node metastases in breast cancer patients: results of a multicenter study in Japan.	Cancer, 118(14):3477-3483,2012.	乳腺・内分泌外科
133	Kim, S. J., Nakayama, S., Shimazu, K., Tamaki, Y., Akazawa, K., Tsukamoto, F., Torikoshi, Y., Matsushima, T., Shibayama, M., Ishihara, H., Noguchi, S.	Recurrence risk score based on the specific activity of CDK1 and CDK2 predicts response to neoadjuvant paclitaxel followed by 5-fluorouracil, epirubicin and cyclophosphamide in breast cancers.	Ann Oncol, 23(4):891-897,2012.	乳腺・内分泌外科

小計

11

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
134	Fujita, N., Nakayama, T., Yamamoto, N., Kim, S. J., Shimazu, K., Shimomura, A., Maruyama, N., Morimoto, K., Tamaki, Y., Noguchi, S.	Methylated DNA and Total DNA in Serum Detected by One-Step Methylation-Specific PCR Is Predictive of Poor Prognosis for Breast Cancer Patients.	Oncology, 83(5):273-282,2012.	乳腺・内分泌外科
135	臼井規朗	本邦で胎児診断された仙尾部奇形腫の生命予後に関する検討 厚生労働省科学研究・胎児仙尾部奇形腫の実態把握・治療指針作成に関する研究から	日小外会誌48(5),834-839	小児外科
136	臼井規朗	Outcomes of prenatally diagnosed sacrococcygeal teratomas: The results of a Japanese nationwide survey.	J Pediatr Surg47,441-447	小児外科
137	宮川周士	A cloning of cytidine monophospho-N-acetylneuraminic acid hydroxylase from porcine endothelial cells.	Transplant Proc.44,1136-8	小児外科
138	宮川周士	A study of the glycoantigens of neonatal porcine islet-like cell clusters (NPCC) using a lectin microarray.	Transplant Proc.44,1134-5	小児外科
139	大割貢	Glutamine prevents intestinal mucosal injury induced by cyclophosphamide in rats	Pediatr Surg Int28,299-303	小児外科
140	上原秀一郎	Apelin is a marker of the progression of liver fibrosis and portal hypertension in patients with biliary atresia	Pediatr Surg IntEpub ahead of print	小児外科
141	大植孝治	Methylation of the RASSF1A promoter is predictive of poor outcome among patients with Wilms tumor	Pediatr Blood Cancer59(3),499-505	小児外科
142	Sakimoto S	An angiogenic role for adrenomedullin in choroidal neovascularization.	PLoS One.	眼科
143	Koh S	Quality of vision in eyes after selective lamellar keratoplasty.	Cornea.	眼科
144	Kuroda S	Choroidal thickness in central serous chorioretinopathy.	Retina.	眼科
145	Hayashi R	Generation of corneal epithelial cells from induced pluripotent stem cells derived from human dermal fibroblast and corneal limbal epithelium.	PLoS One.	眼科
146	Goto S	Reduced-fluence photodynamic therapy for subfoveal serous pigment epithelial detachment with choroidal vascular hyperpermeability.	Am J Ophthalmol.	眼科
147	Matsumura N	Low-dose lipopolysaccharide pretreatment suppresses choroidal neovascularization via IL-10 induction.	PLoS One.	眼科
148	Sawa M	Comparison of macular pigment in three types of macular telangiectasia.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.	眼科

小計

15

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
149	Ueno C	Correlation of indocyanine green angiography and optical coherence tomography findings after intravitreal ranibizumab for polypoidal choroidal vasculopathy.	Retina.	眼科
150	Ikuno Y	Effectiveness of 1.25 % povidone-iodine combined with topical levofloxacin against conjunctival flora in intravitreal injection.	Jpn J Ophthalmol.	眼科
151	Gomi F	Topical bromfenac as an adjunctive treatment with intravitreal ranibizumab for exudative age-related macular degeneration.	Retina.	眼科
152	Higashiura R	Corneal topographic analysis by 3-dimensional anterior segment optical coherence tomography after endothelial keratoplasty.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	眼科
153	Morimoto T	Transcorneal electrical stimulation promotes survival of photoreceptors and improves retinal function in rhodopsin P347L transgenic rabbits.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	眼科
154	Koh S	Development of methicillin-resistant Staphylococcus aureus keratitis in a dry eye patient with a therapeutic contact lens.	Eye Contact Lens	眼科
155	Nakao T	The role of mislocalized phototransduction in photoreceptor cell death of retinitis pigmentosa.	PLoS One.	眼科
156	Sakaguchi H	Implantation of a newly developed direct optic nerve electrode device for artificial vision in rabbits.	J Artif Organs	眼科
157	Sakimoto S	A role for endothelial cells in promoting the maturation of astrocytes through the apelin/APJ system in mice.	Development.	眼科
158	Nakai K	Choroidal observations in Vogt-Koyanagi-Harada disease using high-penetration optical coherence tomography.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.	眼科
159	Higashi-Shingai K, Imai T, Takeda N, et al.	3D analysis of spontaneous upbeat nystagmus in a patient with astrocytoma in cerebellum.	Auris Nasus Larynx. 2012 Apr;39(2):216-9	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
160	Uetsuka S, Kitahara T, Horii A, et al.	Transient low-tone air-bone gaps during convalescence immediately after canal plugging surgery for BPPV.	Auris Nasus Larynx. 2012 Aug;39(4):356-60	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
161	Imai T, Takeda N, Uno A, et al.	Benign paroxysmal positional vertigo showing sequential translations of four types of nystagmus.	Auris Nasus Larynx. 2012 Oct;39(5):544-8	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
162	Nakahara S, Takemoto N, Inohara H.	Small cell carcinoma of the larynx treated by concurrent chemoradiotherapy: a case report.	Case Rep Otolaryngol. 2012;2012:316165	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

小計

14

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
163	Hosokawa K, Yoshida M, Yoshii T, et al.	Effectiveness of the computed analysis of electroglottographic signals in muscle tension dysphonia.	Folia Phoniatr Logop. 2012;64(3):145-50.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
164	Okazaki S, Nishiike S, Watanabe H, et al.	Effects of repeated optic flow stimulation on gait termination in humans.	Acta Otolaryngol. 2013 Mar;133(3):246-52	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
165	Saka N, Imai T, Seo T, et al.	Analysis of benign paroxysmal positional nystagmus in children.	Int J Pediatr Otorhinolaryngol. 2013 Feb;77(2):233-6	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
166	Imai T, Takeda N, Uno A, et al.	Benign paroxysmal positional vertigo showing sequential translations of four types of nystagmus.	Auris Nasus Larynx. 2012 Oct;39(5):544-8	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
167	Miyake, J.	Computer-assisted corrective osteotomy for malunited diaphyseal forearm fractures.	J Bone Joint Surg (94:e1501-1511, 2012.)	整形外科
168	Oka, K.	Corrective osteotomy for malunited both bones fractures of the forearm with radial head dislocations using a custom-made surgical guide: two case reports.	Journal of Shoulder and Elbow Surgery(21:e1-8, 2012.)	整形外科
169	Yoshida, K.	Treatment of partial growth arrest using an in vitro-generated scaffold-free tissue-engineered construct derived from rabbit synovial mesenchymal stem cells.	Journal of Pediatric Orthopaedics,(32:314-321, 2012.)	整形外科
170	Hanafusa T, Azukizawa H, Matsumura S, Katayama I	The predominant drug-specific T-cell population may switch from cytotoxic T cells to regulatory T cells during the course of anticonvulsant-induced hypersensitivity.	J Dermatol Sci. 2012;65(3):213-9	皮膚科
171	Kijima A, Murota H, Matsui S, Takahashi A, Kimura A, Kitaba S, Lee JB, Katayama I	Abnormal axon reflex-mediated sweating correlates with high state of anxiety in atopic dermatitis.	Allergol Int. 2012;61(3)469-73	皮膚科
172	Kobuki Y, Tanemura A, Yang L, Itoi S, Wataya-Kaneda M, Murota H, Fujimoto M, Serada S, Naka T, Katayama I	Dysregulation of melanocyte function by Th17-related cytokines: significance of Th17 cell infiltration in autoimmune vitiligo vulgaris.	Pigment Cell Melanoma Res. 2012;21(5):331-6	皮膚科
173	Murota H, Izumi M, Abd El-Latif MI, Nishioka M, Terao M, Tani M, Matsui S, Sano S, Katayama I	Artemin causes hypersensitivity to warm sensation, mimicking warmth-provoked pruritus in atopic dermatitis.	J Allergy Clin Immunol. 2012;130(3):671-682	皮膚科
174	Wataya-Kaneda M, Tanaka M, et al	A novel application of topical rapamycin formulation, an inhibitor of mTOR, for patients with hypomelanotic macules in tuberous sclerosis complex.	Arch Dermatol. 2012;48(1):138-9	皮膚科
175	Nishibayashi Akimitsu	Correction of complex chest wall deformity in Poland's syndrome using a modified Nuss procedure	J Plast Reconstr Aesthetic Surg	形成外科
176	谷口真貴	乳癌術後乳房再建における乳房縮小術の応用	日美外報	形成外科
177	Takashi Fujiwara	Simple and accurate volume measurement of mastectomy specimens	European Journal of Plastic Surgery	形成外科

小計

15

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
178	富田興一	Differentiated adipose-derived stem cells promote myelination and enhance functional recovery in a rat model of chronic denervation.	Journal of Neuroscience Research (90(7):1392-402, 2012)	形成外科
179	横江 勝	Severity estimation of finger-tapping caused by Parkinson's disease by using linear discriminant regression analysis	Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc (2012; 4315-8.)	神経内科・脳卒中科
180	三原 雅史	Near-infrared Spectroscopy-mediated Neurofeedback Enhances Efficacy of Motor Imagery-based Training in Poststroke Victims: A Pilot Study.	Stroke. 2013;44(4):1091-8.	神経内科・脳卒中科
181	Canuet L,	Influencia del genotipo APOE sobre la actividad cerebral en la enfermedad de Alzheimer	Gen-T The EuroEspes Journal Dec:1-10, 2012	神経科・精神科
182	Kurimoto R,	Induced oscillatory responses during the Sternberg's visual memory task in patients with Alzheimer's disease and mild cognitive impairment	Neuroimage 59(4):4132-4140, 2012	神経科・精神科
183	Yamamori H,	A promoter variant in the chitinase 3-like 1 gene is associated with serum YKL-40 level and personality trait	Neurosci Lett 513(2):204-208, 2012	神経科・精神科
184	Takeda M,	Non-pharmacological intervention for dementia patients.	Psychiatry Clin Neurosci 66(1):1-7, 2013	神経科・精神科
185	Nomura K,	Classification of delusions in Alzheimer's disease and their neural correlates	Psychogeriatrics 12(3):200-10, 2012	神経科・精神科
186	有田 英之	(11)C-methionine uptake and intraoperative 5-aminolevulinic acid-induced fluorescence as separate index markers of cell density in glioma: a stereotactic image-histological analysis	Cancer. 2012 Mar 15;118(6):1619-27	脳神経外科
187	有田 英之	Clinical characteristics of meningiomas assessed by (11)C-methionine and (18)F-fluorodeoxyglucose positron-emission tomography	J Neurooncol. 2012 Apr;107(2):379-86	脳神経外科
188	有田 英之	Biological characteristics of growth hormone-producing pituitary adenomas are different according to responsiveness to thyrotropin-releasing hormone	J Clin Endocrinol Metab. 2012 Aug;97(8):2741-7	脳神経外科
189	有田 英之	Hemifacial spasm caused by intra-axial brainstem cavernous angioma with venous angiomas	Br J Neurosurg. 2012 Apr;26(2):281-3	脳神経外科
190	千葉 泰良	Use of (11)C-methionine PET parametric response map for monitoring WT1 immunotherapy response in recurrent malignant glioma	J Neurosurg. 2012 Apr;116(4):835-42	脳神経外科

小計

13

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
191	橋本 直哉	Slower growth of skull base meningiomas compared with non-skull base meningiomas based on volumetric and biological studies	J Neurosurg. 2012 Mar;116(3):574-80	脳神経外科
192	細見 晃一	Altered extrafocal iomazenil activity in mesial temporal lobe epilepsy	Epilepsy Res. 2013 Feb;103(2-3):195-204	脳神経外科
193	クウウイミン	Periventricular intraparenchymal schwannoma. Case report	Neurol Med Chir (Tokyo). 2012;52(8):603-7	脳神経外科
194	クウウイミン	A "Sling Swing Transposition" Technique with Pedicled Dural Flap for Microvascular Decompression in Hemifacial Spasm	Neurosurgery. 2012 Sep;71(1 Suppl Operative):25-30	脳神経外科
195	木嶋 教行	CD166/activated leukocyte cell adhesion molecule is expressed on glioblastoma progenitor cells and involved in the regulation of tumor cell invasion	Neuro Oncol. 2012 Oct;14(10):1254-64	脳神経外科
196	木下 学	A novel PET index, 18F-FDG-11C-methionine uptake decoupling score, reflects glioma cell infiltration	J Nucl Med. 2012 Nov;53(11):1701-8	脳神経外科
197	木下 学	Imaging (18)F-fluorodeoxy glucose/(11)C-methionine uptake decoupling for identification of tumor cell infiltration in peritumoral brain edema	J Neurooncol. 2012 Jan;106(2):417-25	脳神経外科
198	西田 武生	Brain Arteriovenous Malformations Associated With Hereditary Hemorrhagic Telangiectasia: Gene-Phenotype Correlations	Am J Med Genet A. 2012 Nov;158A(11):2829-34	脳神経外科
199	大西 諭一郎	Disuse muscle atrophy exacerbates motor neuronal degeneration caudal to the site of spinal cord injury	Neuroreport. 2012 Feb 15;23(3):157-61	脳神経外科
200	大西 諭一郎	Entrapment of the Fifth Lumbar Spinal Nerve by Advanced Osteophytic Changes of the Lumbosacral Zygapophyseal Joint: A Case Report	Asian Spine J. 2012 Dec;6(4):291-3	脳神経外科
201	齋藤 洋一	Validation and the Future of Stimulation Therapy of the Primary Motor Cortex	Neurol Med Chir (Tokyo). 2012;52(7):451-6	脳神経外科
202	菅田 陽怜	Neural decoding of unilateral upper limb movements using single trial MEG signals	Brain Res. 2012 Aug 15;1468:29-37	脳神経外科
203	菅田 陽怜	Movement-related neuromagnetic fields and performances of single trial classifications	Neuroreport. 2012 Jan 4;23(1):16-20	脳神経外科
204	柳澤 琢史	Electrocorticographic control of a prosthetic arm in paralyzed patients	Ann Neurol. 2012 Mar;71(3):353-61	脳神経外科
205	柳澤 琢史	Regulation of motor representation by phase-amplitude coupling in the sensorimotor cortex	J Neurosci. 2012 Oct 31;32(44):15467-75	脳神経外科

小計

15

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
206	Iguchi N	Plasma neutrophil gelatinase-associated lipocalin clearance during venovenous hemofiltration.	Clin Exp Nephrol (2012 Apr; 16(2))	麻酔科
207	Yoshida T	Spontaneous breathing during lung protective ventilation in experimental acute lung injury model: high transpulmonary pressure associated with strong spontaneous breathing effort may worsen lung injury.	Crit Care Med (2012 May; 40(5))	麻酔科
208	Yoshida T	The comparison of spontaneous breathing and muscle paralysis in two different severities of experimental lung injury.	Crit Care Med (2013 Feb; 41(2))	麻酔科
209	Nakae A	Serotonin 2C receptor alternative splicing in a spinal cord injury model.	Neurosci Lett. (2013 Jan 4;532)	麻酔科
210	Hagihira S	Impact of Nitrous Oxide on Electroencephalographic Bicoherence during Isoflurane Anesthesia.	Anesth Analg (2012 Sep; 115(3))	麻酔科
211	Iritakenishi T	Milrinone, a phosphodiesterase III inhibitor, prevents reduction of jugular bulb saturation during rewarming from hypothermic cardiopulmonary bypass.	Perfusion (2012, 27: 13-7)	麻酔科
212	Shibuta S	The influence of initial target effect-site concentrations of propofol on the similarity of effect-sites concentrations at loss and return of consciousness in elderly female patients with the Diprifusor system.	J Anaesthesiol Clin Pharmacol (2012, 28: 194-199)	麻酔科
213	吉野 潔	Salvage Chemotherapy Using Gemcitabine for Taxane/Platinum-resistant Recurrent Ovarian Cancer: A Single Institutional Experience	Anticancer Res (2012年9月 32巻9号)	産科・婦人科
214	馬淵誠士	G-CSF induces focal intense bone marrow FDG uptake mimicking multiple bone metastases from uterine cervical cancer: a case report and review of the literature	Eur J Gynaecol Oncol (2012年33巻3号)	産科・婦人科
215	馬淵誠士	Impact of histological subtype on survival of patients with surgically-treated stage IA2-IIB cervical cancer: adenocarcinoma versus squamous cell carcinoma	Gynecol Oncol (2012年10月 127巻1号)	産科・婦人科
216	馬淵誠士	Comparison of the prognoses of FIGO stage I to stage II adenosquamous carcinoma and adenocarcinoma of the uterine cervix treated with radical hysterectomy	Int J Gynecol Cancer (2012年10月22巻8号)	産科・婦人科

小計

11

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
217	馬淵誠士	Elevated white blood cell count at the time of recurrence diagnosis is an indicator of short survival in patients with recurrent cervical cancer	Int J Gynecol Cancer(2012年11月22巻9号)	産科・婦人科
218	金山智子	Calcaneal metastasis in uterine cervical cancer: a case report and a review of the literature	Eur J Gynaecol Oncol(2012年33巻5号)	産科・婦人科
219	金山智子	Primary retroperitoneal mucinous cystadenocarcinoma with mural nodules: a case report and literature review	Int J Clin Oncol(2012年8月17巻4号)	産科・婦人科
220	木村敏啓	Cervical non-squamous carcinoma: an effective combination chemotherapy of taxane, anthracycline and platinum for advanced or recurrent cases	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol (2012年10月164巻2号)	産科・婦人科
221	高橋良子	Enormous cystic tumor of peritoneal psammocarcinoma exhibiting complete response to Cisplatin and cyclophosphamide after suboptimal cytoreduction: case report and review of the literature	Gynecol Obstet Invest (2012年74巻2号)	産科・婦人科
222	久松武志	Prediction of progression-free survival and response to Paclitaxel plus Carboplatin in patients with recurrent or advanced cervical cancer	Int J Gynecol Cancer (2012年5月22巻4号)	産科・婦人科
223	小林栄仁	Total laparoscopic hysterectomy in 1253 patients using an early ureteral identification technique	J Obstet Gynaecol Res (2012年9月38巻9号)	産科・婦人科
224	小林栄仁	Biomarkers for screening, diagnosis, and monitoring of ovarian cancer	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev(2012年11月21巻11号)	産科・婦人科
225	澤田健二郎	Integrin inhibitors as a therapeutic agent for ovarian cancer	J Oncol(2012年2012巻)	産科・婦人科
226	中村仁美	Macrophages regulate expression of alpha1,2-fucosyltransferase genes in human endometrial epithelial cells	Mol Hum Reprod(2012年4月18巻4号)	産科・婦人科
227	大藪恵一	Pediatric aspects of skeletal dysplasia.	Pediatr Endocrinol Rev [10(1):2012.10]	小児科
228	三善陽子	Low serum concentration of anti-müllerian hormone are common in 53 female childhood cancer survivors.	Horm Res Pediatr [79(1):2013.12]	小児科
229	近藤宏樹	Sodium-coupled neutral amino acid transporter 4 functions as a regulator of protein synthesis during liver development.	Hepatol Res [Epub ahead of print: 2013.1]	小児科

小計

13

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
230	石田秀和	Attenuation of bone morphogenetic protein receptor type 2 expression in the pulmonary arteries of patients with failed Fontan circulation.	J Thorac Cardiovasc Surg [143(4):2012.4]	小児科
231	三浦弘司	An overgrowth disorder associated with excessive production of cGMP due to a gain-of-function mutation of the natriuretic peptide receptor 2 gene.	PLoS One [7(8), e42180:2012.8]	小児科
232	藤原 誠	Treatment of hypophosphatemic rickets with phosphate and active vitamin D in Japan: A questionnaire-based survey.	Clin Pediatr Endocrinol [22(1):2013.1]	小児科
233	藤原 誠	Detection and characterization of two novel mutations in the HNF4A gene in maturity-onset diabetes of the young 1 in two Japanese families.	Horm Res Paediatr [79(4):2013.3]	小児科
234	橋井佳子	WT1 peptide vaccination following allogeneic stem cell transplantation in pediatric leukemic patients with high risk for relapse: successful maintenance of durable remission.	Leukemia [26(3):2012.3]	小児科
235	大友孝信	Genistein reduces heparan sulfate accumulation in human mucopolipidosis II skin fibroblasts.	Mol Genet Metab [105(2):2012.2]	小児科
236	岩谷祥子	Ictal high-frequency oscillations on scalp EEG recordings in symptomatic West syndrome.	Epilepsy Res [102(1-2):2012.11]	小児科
237	岩谷祥子	Long-term developmental outcome in patients with West syndrome after epilepsy surgery.	Brain Dev[34(9):2012.10]	小児科
238	橘 雅弥	Long-term administration of intranasal oxytocin is a safe and promising therapy for early adolescent boys with autism spectrum disorders.	J Child Adolesc Psychopharmacol [23(2):2013.3]	小児科
239	毛利育子	Evaluation of oral iron treatment in pediatric restless legs syndrome (RLS).	Seep Med[13(4):2012.4]	小児科
240	辻村 晃	自転車ハンドルによる腹壁筋層損傷を伴った小児外傷性腹膜外膀胱破裂の1例.	日本外傷学会雑誌(2012.26(4))	泌尿器科
241	野々村 祝夫	精巣腫瘍診療ガイドラインを検証する	泌尿紀要, 2012. 58	泌尿器科
242	宮川 康	乏精子症・無精子症に対する薬物療法.	日本医師会雑誌, 2012. 141(6)	泌尿器科
243	Y. Nakai	Solitary skin metastasis adjacent to ureterocutaneous stoma 4 years after radical cystectomy for bladder cancer	Jpn J Clin Oncol, 2012. 42(4)	泌尿器科

小計

14

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
244	T. Takao	Water avoidance stress induces frequency through cyclooxygenase-2 expression:	Int J Urol, 2012. 19(2)	泌尿器科
245	Honda O,	Image Quality of 320-Detector Row Wide-Volume Computed Tomography With Diffuse Lung Diseases: Comparison With 64-Detector Row Helical CT.	J Comput Assist Tomogr. 36(5):505-511, 2012	放射線診断科
246	Sumikawa H,	Usual interstitial pneumonia and nonspecific interstitial pneumonia: Correlation between CT findings at the site of biopsy with pathological diagnoses.	Eur J Radiol. 81(10):2919-24, 2012	放射線診断科
247	Yanagawa M,	Evaluation of response to neoadjuvant chemotherapy for esophageal cancer: PET response criteria in solid tumors versus response evaluation criteria in solid tumors.	J Nucl Med. 53(6):872-80, 2012	放射線診断科
248	Yanagawa M,	Pulmonary nodules: Effect of adaptive statistical iterative reconstruction (ASIR) technique on performance of a computer-aided detection (CAD) system-Comparison of performance between different-dose CT scans.	Eur J Radiol. 81(10):2877-86, 2012	放射線診断科
249	Higashihara H,	Usefulness of contrast-enhanced three-dimensional MR angiography using time-resolved imaging of contrast kinetics applied to description of Extracranial Arteriovenous Malformations: initial experience.	Eur J Radiol. 81(6):1134-9, 2012	放射線診断科
250	Higashihara H,	Diagnostic accuracy of C-arm CT during selective transcatheter angiography for hepatocellular carcinoma: comparison with intravenous contrast-enhanced, biphasic, dynamic MDCT.	Eur Radiol. 22(4):872-9, 2012	放射線診断科
251	Hori M,	Ovarian Masses: MR Imaging with T1-weighted 3-dimensional Gradient-echo IDEAL Water-fat Separation Sequence at 3T.	Magn Reson Med Sci. 11(2):117-127, 2012	放射線診断科
252	Maeda N,	Transarterial chemoembolization with cisplatin as second-line treatment for hepatocellular carcinoma unresponsive to chemoembolization with epirubicin-Lipiodol emulsion.	Cardiovasc Intervent Radiol. 35(1): 82-9. 2012	放射線診断科
253	Maeda N,	In vivo evaluation of cisplatin-loaded superabsorbent polymer microspheres for use in chemoembolization of VX2 liver tumors.	J Vasc Interv Radiol. 23(3):397-404. 2012	放射線診断科

小計

10

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
254	Onishi H,	Hypervascular hepatocellular carcinomas: detection with gadoxetate disodium-enhanced MR imaging and multiphasic multidetector CT.	Eur Radiol. 22(4):845-854, 2012	放射線診断科
255	Osuga K,	Phase I/II Multicenter study of transarterial chemoembolization with a cisplatin fine powder and porous gelatin particles for unresectable hepatocellular carcinoma: Japan Interventional Radiology in Oncology Study Group Study 0401.	J Vasc Interv Radiol. 23:1278-1285, 2012	放射線診断科
256	Osuga K,	Current status of embolic agents for liver tumor embolization.	Int J Clin Oncol. 17(4):306-315, 2012	放射線診断科
257	Ogawa K et al	Treatment and prognosis of angiosarcoma of the scalp and face: a retrospective analysis of 48 patients.	Br J Radiol. 2012 Nov;85(1019):e1127-33.	放射線治療科
258	Ogawa K et al	Concurrent radiotherapy and gemcitabine for unresectable pancreatic adenocarcinoma: impact of adjuvant chemotherapy on survival.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 83(2): 559-65, 2012.	放射線治療科
259	Ogawa K et al	Phase II trial of radiotherapy after hyperbaric oxygenation with multiagent chemotherapy (procarbazine, nimustine, and vincristine) for high-grade gliomas: long-term results.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 82(2): 732-8, 2012.	放射線治療科
260	Sumida I et al	Quality assurance of MLC leaf position accuracy and relative dose effect at the MLC abutment region using an electronic portal imaging device.	J Radiat Res 53: 798-806, 2012	放射線治療科
261	Watabe T, et al.	Quantitative Evaluation of Cerebral Blood Flow and Oxygen Metabolism in Normal Anesthetized Rats: 15O-Labeled Gas Inhalation PET with MRI Fusion.	J Nucl Med. 2013 Feb;54(2):283-90.	核医学診療科
262	Hosomi K, et al.	Altered extrafocal iomazenil activity in mesial temporal lobe epilepsy.	Epilepsy Res. 2013 Feb;103(2-3):195-204.	核医学診療科
263	Yamamoto S, et al.	Performance comparison of high quantum efficiency and normal quantum efficiency photomultiplier tubes and position sensitive photomultiplier tubes for high resolution PET and SPECT detectors.	Med Phys. 2012 Nov;39(11):6900-7.	核医学診療科
264	Yamamoto S, et al.	Development of a flexible optical fiber based high resolution integrated PET/MRI system.	Med Phys. 2012 Nov;39(11):6660-71.	核医学診療科
265	Kinoshita M, et al.	A novel PET index, 18F-FDG-11C-methionine uptake decoupling score, reflects glioma cell infiltration.	J Nucl Med. 2012 Nov;53(11):1701-8.	核医学診療科

小計

12

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
266	Nomura K, et al.	Classification of delusions in Alzheimer's disease and their neural correlates.	Psychogeriatrics. 2012 Sep;12(3):200-10.	核医学診療科
267	Hosomi K, et al.	Altered extrafocal iomazenil activity in mesial temporal lobe epilepsy. Epilepsy.	2013 Feb;103(2-3):195-204.	核医学診療科
268	Fujiwara S, et al.	Clinical trial of the intratumoral administration of labeled DC combined with systemic chemotherapy for esophageal cancer.	J Immunother. 2012 Jul;35(6):513-21.	核医学診療科
269	Kato H, et al.	MR imaging-based correction for partial volume effect improves detectability of intractable epileptogenic foci on iodine 123 iomazenil brain SPECT images: an extended study with a larger sample size.	AJNR Am J Neuroradiol. 2012 Dec;33(11):2088-94.	核医学診療科
270	Yanagawa M, et al.	Evaluation of response to neoadjuvant chemotherapy for esophageal cancer: PET response criteria in solid tumors versus response evaluation criteria in solid tumors.	J Nucl Med. 2012 Jun;53(6):872-80.	核医学診療科
271	Kato H, et al.	Distribution of cortical benzodiazepine receptor binding in right-handed healthy humans: a voxel-based statistical analysis of iodine 123 iomazenil SPECT with partial volume correction.	AJNR Am J Neuroradiol. 2012 Sep;33(8):1458-63.	核医学診療科
272	Horitsugi G, et al.	Radiologic assessment of a self-shield with boron-containing water for a compact medical cyclotron.	Radiol Phys Technol. 2012 Jul;5(2):129-37.	核医学診療科
273	Koshino K, et al.	Effects of patient movement on measurements of myocardial blood flow and viability in resting (15)O-water PET studies.	J Nucl Cardiol. 2012 Jun;19(3):524-33.	核医学診療科
274	Watabe T, et al.	Intratumoral heterogeneity of F-18 FDG uptake differentiates between gastrointestinal stromal tumors and abdominal malignant lymphomas on PET/CT.	Ann Nucl Med. 2012 Apr;26(3):222-7.	核医学診療科
275	Chiba Y, et al.	Use of (11)C-methionine PET parametric response map for monitoring WT1 immunotherapy response in recurrent malignant glioma.	J Neurosurg. 2012 Apr;116(4):835-42.	核医学診療科
276	Yamamoto S, et al.	Simultaneous imaging using Si-PM-based PET and MRI for development of an integrated PET/MRI system.	Phys Med Biol. 2012 Jan 21;57(2):N1-13.	核医学診療科
277	Arita H, et al.	Clinical characteristics of meningiomas assessed by (11)C-methionine and (18)F-fluorodeoxyglucose positron-emission tomography.	J Neurooncol. 2012 Apr;107(2):379-86.	核医学診療科

小計

12

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
278	高野 徹	Prolonged hybridization with a cRNA probe improves the signal to noise ratio for in-tube in situ hybridization for quantification of mRNA after fluorescence-activated cell sorting	Biotech Histochem (2012年5月 87巻5号)	臨床検査部
279	高野 徹	Measurement of TFF3 mRNA in aspirates from thyroid nodules using mesh filtration: the first clinical trial in 130 cases	Endocr J(2012年7月 59巻7号)	臨床検査部
280	高野 徹	Genes that characterize T3-predominant Graves' thyroid tissues	Eur J Endocrinol(2013年2月 168巻2号)	臨床検査部
281	高山千尋	小児側弯症の術後呼吸管理に難渋した症例の検討	ICUとCCU	集中治療部
282	後藤幸子	マンパワーの効率面からも、集中治療医チームにお任せ下さい...	INTENSIVIST	集中治療部
283	藤野裕士	1上気道閉鎖	新 呼吸療法テキスト	集中治療部
284	宇治満喜子	人工心肺を用いた心臓・大血管手術における手術中・後のフィブリノゲン値と出血・輸血量の関連性の検討	麻酔	集中治療部
285	井口直也	Plasma neutrophil gelatinase-associated lipocalin clearance during venovenous hemodiafiltration	Clin Exp Nephrol	集中治療部
286	Sugimoto K	Factors affecting the effect of treatment of VCM based on the quantity of MRSA for hospital-acquired pneumonia	Japanese Journal of Drug Informatics	集中治療部
287	野島 聡	A point mutation in Semaphorin 4A associates with defective endosomal sorting and causes retinal degeneration.	Nat Commun (4;1406, 2013)	病理部
288	和田 直樹	Diffuse large B cell lymphoma with an interfollicular pattern of proliferation shows a favorable prognosis: a study of the Osaka Lymphoma Study Group.	Histopathology (60;924-932, 2012)	病理部
289	森井 英一	Role of leucine-rich pentatricopeptide repeat motif-containing protein (LRPPRC) for anti-apoptosis and tumorigenesis in cancers.	Eur J Cancer, (48;2462-2473, 2012)	病理部
290	池田 純一郎	Reactive oxygen species and aldehyde dehydrogenase activity in Hodgkin lymphoma cells.	Lab Invest, (92;606-614, 2012)	病理部
291	和田 直樹	Tumor-associated macrophages in diffuse large B-cell lymphoma: a study of the Osaka Lymphoma Study Group.	Histopathology, (60;313-319, 2012)	病理部
292	森井 英一	MicroRNA-mediated upregulation of integrin-linked kinase promotes Src-induced tumor progression.	Oncogene, (31;1623-1635, 2012)	病理部

小計

15

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
293	森井 英一	Prognostic significance of elongator protein 3 (ELP3) expression in endometrioid adenocarcinoma.	Oncol Let, (3:25-29, 2012)	病理部
294	Kiyomizu K, et al.	Recognition of highly restricted regions in the β -propeller domain of α IIb by platelet-associated anti- α IIb β 3 autoantibodies in primary immune thrombocytopenia.	Blood 120:1499-1509, 2012	輸血部、血液・腫瘍内科
295	Tomiyama Y, et al.	A lower starting dose of eltrombopag is efficacious in Japanese patients with previously treated chronic immune thrombocytopenia.	J Thromb Haemost 10:799-806, 2012	輸血部、血液・腫瘍内科
296	松嶋 麻子 外	Potential Clinical Usefulness of Polymerase Chain Reaction Test to Detect Pathogens Causing Sepsis	Medical Microbiology&Diagnosis (2012)	高度救命救急センター
297	清水 健太郎 外	Probiotic/Synbiotic Therapy for Treating Critically Ill Patients from a Gut Microbiota Perspective	Dig Dis Sci(2013.58)	高度救命救急センター
298	大須賀 章倫 外	Prognostic impact of fecal pH in critically ill patients	Critical Care(2012.16)	高度救命救急センター
299	山川 一馬 外	Platelet mitochondrial membrane potential correlates with severity in patients with systemic inflammatory response syndrome	Journal of Trauma Acute care Surgery (2012.72.2)	高度救命救急センター
300	山川 一馬 外	Recombinant human soluble thrombomodulin in sepsis-induced disseminated intravascular coagulation:a multicenter propensity score analysis	Intensive Care Medicine(2013.39)	高度救命救急センター
301	廣瀬 智也 外	脾切除術を施行せずに治療した小児鈍的脾損傷(Ⅲb型)の1例	日本救急医学会雑誌 (2012.23.11)	高度救命救急センター
302	関雅文	Loading regimen required to rapidly achieve therapeutic trough plasma concentration of teicoplanin and evaluation of clinical features.	Clin Pharmacol.(2012;4:71-5.)	感染制御部
303	濱口重人	Case of invasive nontypable Haemophilus influenzae respiratory tract infection with a large quantity of neutrophil extracellular traps in sputum.	J Inflamm Res. (2012;5:137-40.)	感染制御部
304	吉津 紀久子	がん医療において心理士に求められる役割について	心身医学 (第52巻 第5号 2012年5月1日発行)	保健医療福祉ネットワーク部
305	和田 浩志	Once-Daily Prolonged-Release Tacrolimus in De Novo Liver Transplantation: A Single Center Cohort Study.	Hepatogastroenterology. (2012; 59(116): 1184-1188)	消化器外科・移植医療部
306	永野 浩昭	Rapamycin causes upregulation of autophagy and impairs islets function both in vitro and in vivo.	Am J of Transplantation (2012; 12(1): 102-114)	消化器外科・移植医療部
307	小林 省吾	Significance of Alanine Aminopeptidase N (APN) in Bile in the Diagnosis of Acute Cellular Rejection After Liver Transplantation.	J Surg Res. (2012;175(1):138-48)	消化器外科

小計

15

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
308	永野 浩昭	Serum neutrophil gelatinase-associated lipocalin during the early postoperative period predicts the recovery of graft function after kidney transplantation from donors after cardiac death.	J Urol. (2012; 187(6): 2261-2267)	消化器外科・移植医療部
309	江口 英利	Intragraft transcriptome level of CXCL9 as biomarker of acute cellular rejection after liver transplantation.	Journal Surg Res. (2012; 178(2): 1003-1114)	消化器外科
310	和田 浩志	Once-daily prolonged-release tacrolimus in de novo liver transplantation: a single center cohort study.	Hepatogastroenterology. (2012 ; 59(116): 1184-1188)	消化器外科・移植医療部
311	角田 洋一	Blocking of CCR5 and CXCR3 Suppresses the Infiltration of Macrophages in Acute Renal Allograft Rejection.	Transplantation. 2012; 93: 24-31.	泌尿器科
312	阿部 豊文	Carbamylated erythropoietin ameliorates cyclosporine nephropathy without stimulating erythropoiesis.	Cell Transplantation. 2012;21:571-80.	泌尿器科
313	阿部 豊文	Hydrogen-rich University of Wisconsin solution attenuates renal cold ischemia-reperfusion injury.	Transplantation. 2012;94:14-21.	泌尿器科
314	蔦原 宏一	The blocking of CXCR3 and CCR5 suppresses the infiltration of T lymphocytes in rat renal ischemia reperfusion.	Nephrol Dial Transplant. 2012 ;27:3799-806.	泌尿器科
315	小尾 佳嗣	Orally active vitamin d for potential chemoprevention of posttransplant malignancy.	Cancer Prev Res . 2012;5:1229-35.	腎臓内科
316	小尾 佳嗣	A single daily dose enhances the adherence to immunosuppressive treatment in kidney transplant recipients: a cross-sectional study.	Clin Exp Nephrol. 2013;17:310-5.	腎臓内科
317	奥見 雅由	The induction of tolerance of renal allografts by adoptive transfer in miniature swine.	Am J Transplant. 2013;13:1193-202.	泌尿器科・移植医療部
318	奥見 雅由	糖尿病腎症に対する腎移植の現状	内分泌・糖尿病・代謝内科. 34: 573-578; 2012	泌尿器科・移植医療部
319	矢澤 浩治	鏡視下ドナー腎摘除術の臨床的検討	Japanese Journal of Endourology. 25: 346-350; 2012	泌尿器科
320	山田 寛之	Humoral immunity is involved in the development of pericentral fibrosis after pediatric live donor liver transplantation.	Pediatric Transplantation 2012年12: 16(8)巻: 858-865 頁	小児科
321	Shuji Miyagawa	Carbohydrate antigens.	Curr Opin Organ Transplant.	小児外科
322	Shuji Miyagawa	A Lectin array analysis for wild-type and a-Gal-knockout pig islets, compared with humans.	Surgery Today	小児外科
323	Shuji Miyagawa	A lectin microarray study of glycoantigens in neonatal porcine islet-like cell clusters (NPCC)	J Surgical Research	小児外科

小計

16

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
324	Kondou H	Humoral immunity is involved in the development of pericentral fibrosis after pediatric live donor liver transplantation.	Pediatr Transplant.	小児科
325	N Fukushima	Posttransplant Lymphoproliferative Disorder after Cardiac Transplantation in Children: Life Threatening Complications Associated with Chemotherapy Combined with Rituximab.	ISRN Transplantation 2013: ID683420 http://dx.doi.org/10.5402/2013/683420	重症臓器不全治療学・移植医療部
326	N Fukushima	Donor evaluation and management system (medical consultant system) in Japan: experience from 200 consecutive brain-dead organ donation.	Transplant Proc 2013:45 (4):1327-30.	重症臓器不全治療学・移植医療部
327	S Konaka	Current status of in-hospital donation coordinators in Japan: nationwide survey.	Transplant Proc 2013:45 (4):1295-1300	重症臓器不全治療学・移植医療部
328	Ichibori Y	Cardiac allograft vasculopathy progression associated with intraplaque neovascularization.	J Am Coll Cardiol. 2013 Mar 5;61(9):e149.	循環器内科
329	Sawa Y	The first successful heart-lung transplantation in Japan: report of a case.	Surg Today. 2013 Feb 20. [Epub ahead of print]	心臓血管外科、移植医療部
330	N Fukushima	Professional education of procurement transplant coordinators in Japan	J Nursing Education Practice, 2013;3(12):16-26	重症臓器不全治療学・移植医療部
331	N Fukushima	Donor assessment and management for maximizing organ availability	Chapter 2 Organ Donation and Organ Donors. Editor: RF Saidi. Nova Science	重症臓器不全治療学・移植医療部
332	宮脇康至	Correlation between the Consumption of Meropenem or Doripenem and Meropenem Susceptibility of Pseudomonas aeruginosa in a University Hospital in Japan	Biological and Pharmaceutical Bulletin 2012; 35(6):946-949	薬剤部
333	松本 章士	トブラマイシンの1日1回投与の血中濃度モニタリングによる適正化の検討	日本病院薬剤師会雑誌 第48巻5号 2012	薬剤部
334	須川 涼	レバミピド含嗽剤の安定性に関する基礎検討	日本病院薬剤師会雑誌 第48巻10号(1217-1220)2012年	薬剤部
335	橋渡貴司	股関節正面撮影における足関節背屈による足軸内旋効果と大腿骨頸部軸描出との関係—MR画像を用いた検討—	日本放射線技術学会雑誌 2012, 68(5):584-592	医療技術部 放射線部門
336	土井 司	医療安全に対する認識レベルと経験年数による差	日本放射線技術学会雑誌 2012, 68(8):608-616	医療技術部 放射線部門
337	山田幸子	仮想単色CTによる腎嚢胞のPseudoenhancement抑制効果:腎嚢胞ファントムモデルによる検証	日本放射線技術学会雑誌 2012, 68(10):1379-1384	医療技術部 放射線部門
338	佐々木秀隆	小児Brain ECD studyにおける放射性医薬品の投与量の検討	日本小児放射線技術 2013(38)	医療技術部 放射線部門

小計

15

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
339	尾方俊至	Feasibility and accuracy of relative electron density determined by virtual monochromatic CT value subtraction at two different energies using the gemstone spectral imaging	Radiation Oncology 2013;83(8)	医療技術部 放射線部門
340	竹尾 映美	凝固因子インヒビター測定法における血漿pHの安定化法	日本検査血液学会誌(2013. 2、第14巻、第1号)	医療技術部 検査部門
341	木村圭吾	各種MRSAスクリーニング培地の比較検討評価	(日本臨床微生物学雑誌)2012年12月22巻4号	医療技術部 検査部門
342	砂田淳子	1.5%レボフロキサシン点眼薬と0.5%レボフロキサシン点眼薬のPostantibiotic Bactericidal Effect 比較	(あたらしい眼科)2012年6月29巻6号	医療技術部 検査部門
343	Satomi Mugii	Thyroid Function Influences Serum Apolipoprotein B-48 Levels in Patients with Thyroid Disease	Jornal of Atherosclerosis and Thrombosis (2012Vol.19 No.10)	医療技術部 検査部門
344	井上 直哉	Associations Between Autoimmune Thyroid Disease Prognosis and Functional Polymorphisms of Susceptibility Genes, CTLA4, PTPN22, CD40, FCRL3, and ZFAT, Previously Revealed in Genome-wide Association Studies	Journal of clinical immunology(32(6), 1243-52,2012)	医療技術部 検査部門
345	井上 直哉	The association between a functional polymorphism in the CD24 gene and the development of autoimmune thyroid diseases	Tissue Antigens(81(3), 161-3,2013)	医療技術部 検査部門
346	井上 直哉	全自動化学発光酵素免疫測定装置Access2 イムノアッセイシステムによる血清サイログロブリン測定試薬の性能評価	医療と検査機器・試薬 (36(1),2013)	医療技術部 検査部門
347	M. DEGUCHI	Evaluation of Human Immunodeficiency Virus-1/2 Antigen/Antibody Immunochromatographic Assay	Clinical Laboratory (58, 1193-1201, 2012)	医療技術部 検査部門
348	吉津紀久子	がん医療において心理士に求められる役割について	『心身医学』第52巻 第5号 2012年5月1日発行	保健医療福祉ネットワーク部
349	真田昌爾	Smoking promotes subclinical atherosclerosis in apparently healthy men: 2-year ultrasonographic follow-up.	Circ J. 2012年;76巻12号	未来医療開発部 /循環器内科
350	真田昌爾	The less embraces the greater in detecting multiple coronary artery diseases.	Circ J. 2012年;76巻2号	未来医療開発部 /循環器内科
351	名井 陽	大阪大学の臨床試験サポート体制	薬理と治療 40巻 別刷	未来医療開発部
352	Minamino, T., et al.	Design and rationale of low-dose erythropoietin in patients with ST-segment elevation myocardial infarction (EPO-AMI-II study): A randomized controlled clinical trial	Cardiovascular Drugs and Therapy(2012; 26: 409-16)	未来医療開発部データセンター
353	Yamamoto, K., et al.	Statistical analysis of case-control data of endometrial cancer based on new asymmetry models	Journal of Biometrics and Biostatistics(2012; 3: 1-4)	未来医療開発部データセンター

小計
15

計

353

No	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
----	-------	----	-----	------

(注)

1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

※雑誌名についてはカッコ書きで発行年月及び巻・号を必ず記入のこと。

※商業雑誌に掲載したもの及び研究発表は除く。

※特定機能病院の要件として、「当該特定機能病院に所属する医師等が査読のある学術雑誌に発表した論文の数が年間100件以上であること」が求められています。該当する論文については、すべて記入願います。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 吉川 秀樹			
管理担当者氏名	総務課長 永家 清考 薬剤部長 三輪 芳弘	医事課長 松本 光弘 放射線部長 富山 憲幸		

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録				
病院日誌		総務課	カルテ等病歴資料は、1患者1カルテとし、コンピュータによる集中管理を行っている。 エックス線写真は、PACS（画像サーバ）で集中保管。	
検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課		
処方せん		薬剤部		
手術記録		手術部		
看護記録		看護部		
エックス線写真		放射線部		
各科診療日誌		各診療科		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	項規 第則 第一 号に 条の 掲げ 十一 体第 一各 保号 の及 状 第九 条の 二十 三第 一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		中央クオリティマネジメント部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医事課
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		中央クオリティマネジメント部		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		中央クオリティマネジメント部		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染制御部		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		中央クオリティマネジメント部		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課		

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	規則第一 条の十一 第一項各 号及び第 九条の二 十三第一 項第一号 に掲げる 体制の確 保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	医事課 感染制御部
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の収 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	医療技術部
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	医療技術部
		医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	医療技術部
医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	医療技術部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務課長 永家 清考
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 松本 安啓
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	89.0 %	算定期間	平成24年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	20,360人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,485人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	490人	
	D: 初診の患者の数	25,083人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. 診療情報の共有 3. 医療安全に関する組織的取り組み 4. インシデントの報告 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者からの医療相談の実施 8. 医療安全情報の共有 9. 職員に対する教育研修 10. 医療安全文化の構築 11. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 12. 医療安全管理に関する指針の公開 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 38 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>統括医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する 年11回 リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する 年6回 医療クオリティ審議委員会：医療クオリティの向上を図る 年18回 医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年3回</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 12 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①鎮静薬と鎮痛薬 ②小児の鎮静の注意点 ③パスの作成・運用方法 ④法律相談と医事紛争について ⑤LVADテスト ⑥胃管挿入マニュアルについて ⑦医療安全への患者参加、CPRコールについて ⑧シミュレーション教育の実践 ⑨患者確認・照合の推進 ⑩医療安全セミナー：せん妄 ⑪患者間違いインシデント“ゼロ”を目指して ⑫コミュニケーション能力について 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①医療安全関係マニュアルの改訂と周知 ②患者確認強化期間の実施 ③いろはテレビ(病棟用)の上映 ④研修医の輸血に関する取り決めの策定・周知 ⑤手術安全チェックリスト作成・試用 ⑥手術説明書の脳梗塞に関する記載追加 ⑦同意書(共通)における自署の徹底と周知 ⑧放射線読影レポートのフォーマット改訂と周知 	

(様式第13-2)

⑨放射線検査時の妊娠の有無の確認についての周知 ⑩注射抗癌剤と内服抗癌剤を併用するレジメンのオーダーリング運用 ⑪生体腎移植ドナー候補者の受診手順の見直し ⑫補助循環装置の電源接続部改良 ⑬マウスピュア®（口腔ケアスポンジ）の製品及び包装改良 ⑭病理Ai（Autopsy Imaging）体制の検討 ⑮頭部保護帽子の検討 ⑯乳児の心肺蘇生テキストの改訂・配付 ⑰eラーニング作成・実施（鎮静薬と鎮痛薬、小児の鎮静の注意点、パスの作成・運用方法、胃管挿入マニュアルについて、患者間違いインシデント“ゼロ”を目指して） ⑱CVC関連インシデントの検証と周知 ⑲CPRコール事例の検証と周知	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 4 名） ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 6 名） ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員： 専任（ 4 ）名 兼任（ 1 ）名 ・ 活動の主な内容： 1. インシデントの調査・分析・レポート管理 2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価 3. リスクマネジャー会議の開催 4. 職員研修の企画・実施 5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用 6. 現場のリスクマネジャー支援 7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整 8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援 9. 医療事故後の患者及び家族等への対応支援等	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染対策に関する基本的な考え方 ・ 院内感染対策に関する組織的な取り組み ・ 感染制御部の設置と目的 ・ 院内感染対策の対象者 ・ 院内感染対策の内容 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 感染対策委員会： <ul style="list-style-type: none"> ①院内感染症の届出状況や抗菌薬の使用状況等の報告 ②院内感染対策についての審議 (感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設基準に関すること等) 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 30 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員対象：5回/年 院内感染対策、針刺し防止対策、院内感染対策のまとめ、アウトブレイク事例 ・ 対象別教育 新採用者（研修医、看護師）-院内感染対策の基本についての講義と演習 部署単位での勉強会-耐性菌対策、抗菌薬の適正使用など部署の問題に応じた内容 外部委託業者（清掃員、洗浄員、受付、メッセージャーなど）インフルエンザ対策 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 耐性菌サーベイランス、デバイスサーベイランス等のサーベイランスデータを元に対象部署に介入を行い感染対策の改善を図っている 耐性菌サーベイランスを元にした介入（MRSA、MDRP、ESBL産生株など） デバイスサーベイランス実施部署：ICU（BSI、UTI、VAP） 救命救急センター（BSI、UTI） 抗菌薬使用状況を薬剤部からのデータを元に、適正使用にむけての介入を行っている 8日以上継続使用には、抗菌薬継続使用届の提出を必要とする 対象患者のリストアップは専任薬剤師によって行う 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医薬品安全講習会6月：「医薬品安全管理体制と最近のトピックス」 医薬品安全講習会9月：「安全な医療提供をめざして一病棟専任薬剤師の役割」 「疑義照会の事例より」 阪大病院フォーラム11月：「医薬品副作用登録システム／副作用被害救済制度」 医薬品安全講習会2月：「入院がん化学療法一休日調製体制について」 医薬品安全管理講習会12月：「医薬品安全管理のための情報提供」 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医薬品安全業務手順書の策定・見直し 従業者に対する医薬品安全使用のための研修企画・実施 業務手順書に基づく業務実施の確認・記録 医薬品の安全使用のための情報収集その他改善方策 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要安全情報の発信（委員および各部署医薬品安全管理者に速報） ・ 医薬品・医療機器等安全性情報(厚労省)No289～299速報 ・ PMDA・製薬企業からの医薬品適正使用のお願い等の配信 ・ 医薬品安全関連情報、院内副作用情報のHP提供、 ・ 院内医薬品集追補版発行、薬剤関連マニュアル改訂 ・ 救急カートの薬品チェック表整備 ・ 医薬品副作用被害救済制度の啓発と講習会のe-learning配信 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：下記のセルフチェックとe-learningを使つての研修 <ul style="list-style-type: none"> 始業点検と終業点検方法 非常停止ボタンの位置と押すタイミング 装置が正常に動作しているかの確認 装置が正常に動作していないときの対処と点検順序 機器付属機能の動作確認法 非常事態発生時の対処方法と報告手順 装置のトラブル時の連絡先と連絡方法 <p style="margin-left: 40px;">以上等の項目について個人で習熟度をチェックし確認報告を受けている。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容：1～4はMEサービス部、5・6はメーカーによる定期点検を実施 <ul style="list-style-type: none"> 1 人工心肺装置及び補助循環装置 2 人工呼吸器 3 除細動装置 4 閉鎖式保育器 5 診療用高エネルギー放射線装置 6 診療用放射線照射装置 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> PMDAや厚生労働者からの通知などを中心に情報を収集、それらを医療機器安全管理委員会や病院運営会議で報告し啓発している。 問題やインシデント報告があれば医療機器安全管理小委員会で即時検討を行なっている。 OpenME（毎木曜日に開催）による医療機器使用者に対する実地研修 安全使用のための研修にe-learning制度を導入 	